ＩＰＡ２０２

管理者モード説明書

目　次

1 概　要

本書はIPA202専用設置説明書です。取扱説明書に記載していない詳細な設定について記載しています。取扱説明書と合わせてご利用ください。

ご注意

- この説明書に記載している専門用語を充分ご理解の上でご利用下さい。不用意に設定されますと、設定内容が不適切な場合、通信不能や設定不能になる事があります。
- 新たな設定で、通信不能になった場合は、設定を元に戻して設定の誤りをお調べください。
- 新たな設定で、設定不能になった場合は、本機背面の「初期化スイッチ」を押しながら電源を入れて、全設定を初期化してから改めて設定をやり直してください。
- IP 電話で通話中にデータ通信を行うと、IP 電話の音声品質が保てなくなることが有ります。その場合は、「2.3.2 QoS の設定」をご参照ください。
- インターネットに接続できない場合、右上隅のヘルプ機能（弊社最新ファームウェアに合わせた設定情報）は動作しません

2 詳細設定するには

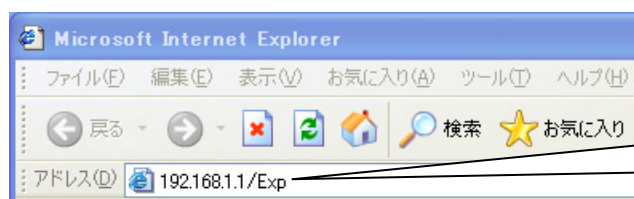
本機で詳細な設定内容を変更するにはパソコンからInternet Explorer（5.0以降）を使って「管理者用のログイン」で設定する必要があります。

設定での入力は半角で大文字・小文字をご確認の上　正しく入力を御願いします。

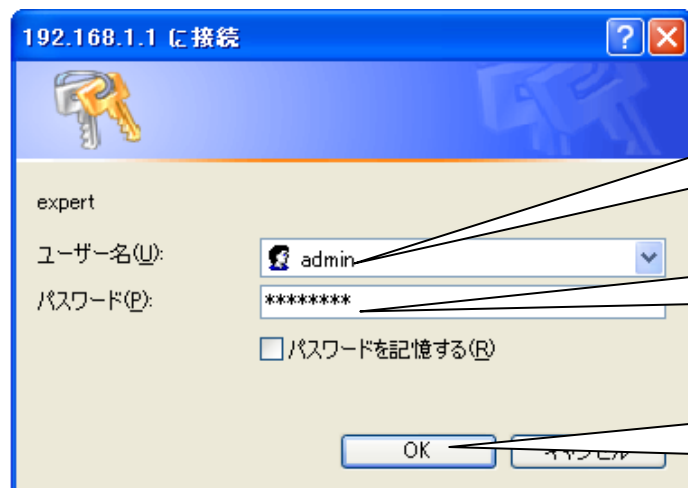
（注意：仕様の変更により説明書のWeb画面と多少異なる事がございます。）

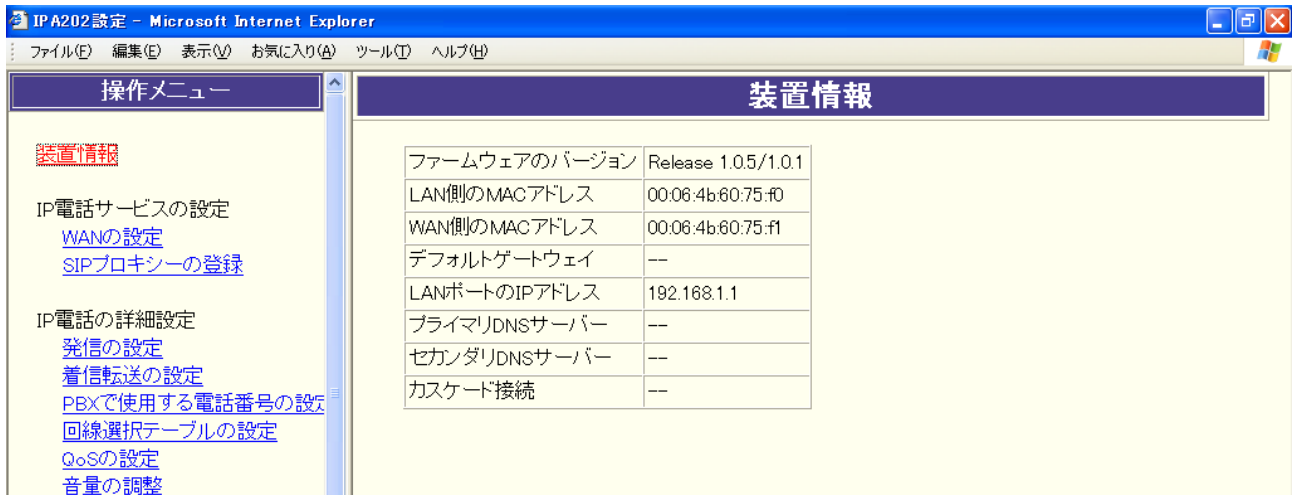
2.1 Web設定を使用する

1．パソコンよりInternet Explorer（５.０以降）アイコンをダブルクリックします。

2．URLフィールドに本機のIPアドレス「192.168.1.1/Exp」を入力し、Enterキーを押します。

3．ユーザー名とパスワードを入力して、「ＯＫ」ボタンをクリックします。

ユーザ名　：admin

パスワード：administ

- パスワードを変更するには、Web 設定で「IP 電話の詳細設定」→「WEB 設定パスワードの変更」→「パスワードの変更」。パスワードは最小 1 文字、最大 15 文字半角英数字です。大文字小文字の区別します。
- ユーザー名は変更できません。

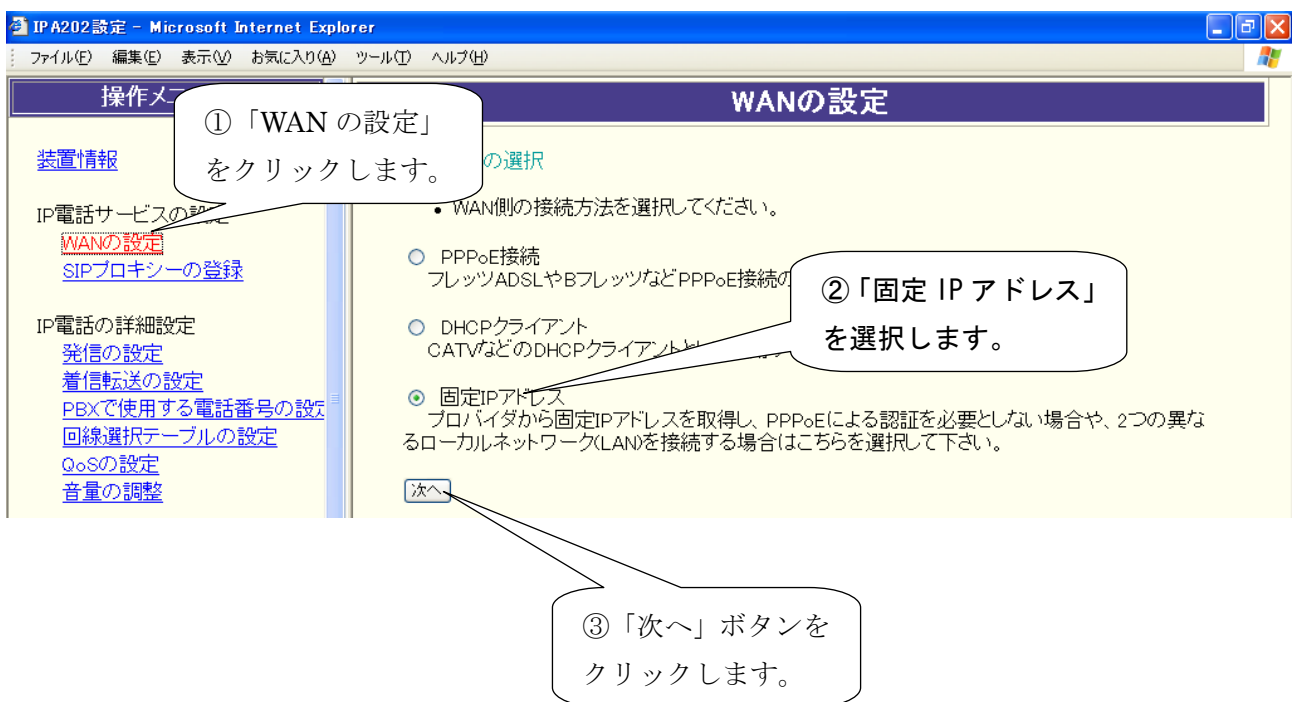
4．正しくユーザー名とパスワードを入力しますと、Web設定画面が表示されます。

2.2 IP電話サービスの設定

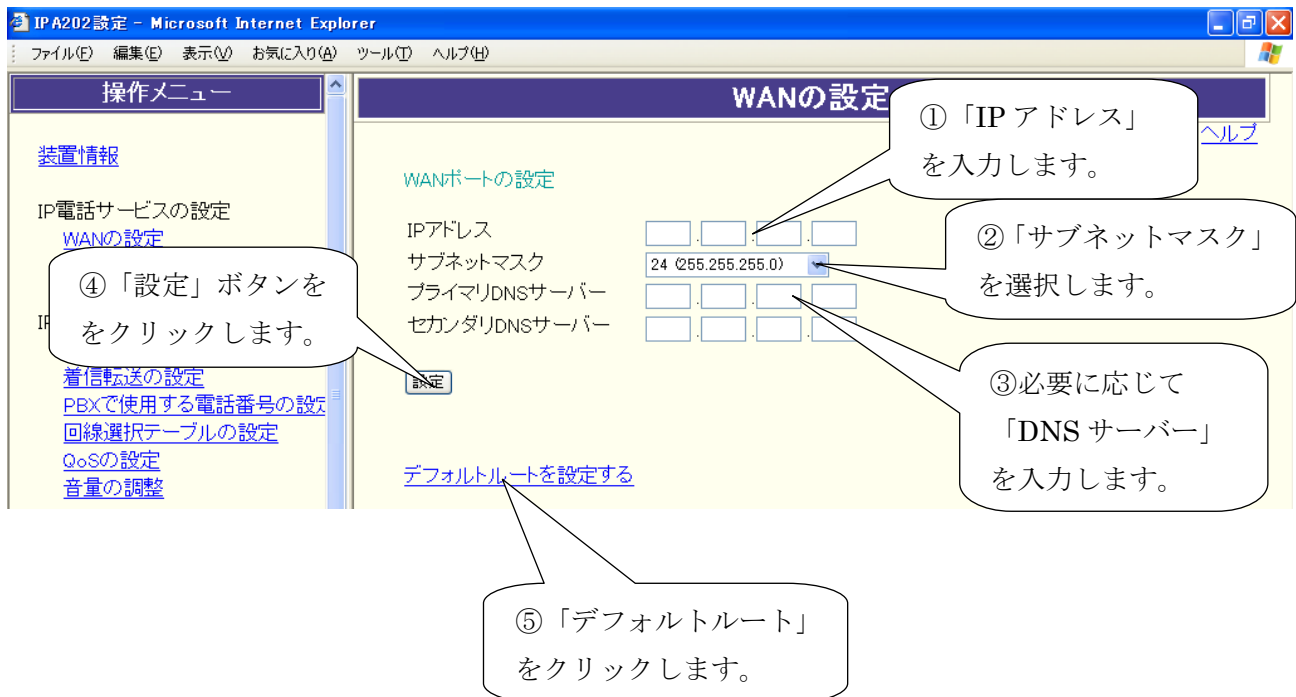
取扱説明書に記載していない設定項目は下記項目があります。

➢ ＷＡＮの設定（固定 IP アドレス）

各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

2.2.1 ＷＡＮの設定（固定 IP アドレス）

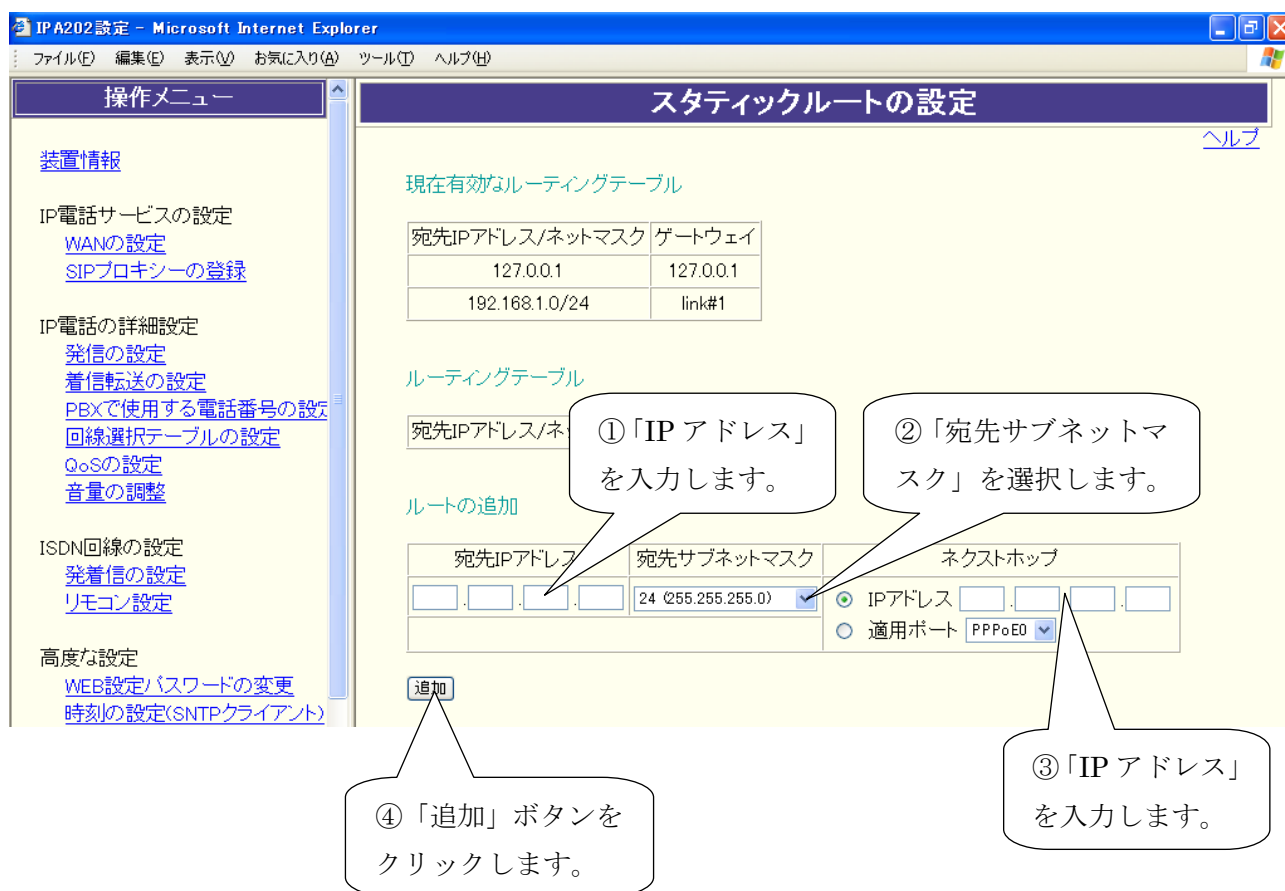
1. 固定 IP アドレスで接続する場合、「ＷＡＮの設定」の「固定 IP アドレス」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

2.　「固定 IP アドレスの設定」画面で以下の設定を行います。
3.　設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。
4.　上位接続先ルータが有れば、「デフォルトルートを設定」をクリックして、固定経路を設定します。

設定例

①「IP アドレス」192.168.10.2（本機の IP アドレス）を入力します。
②「サブネットマスク」24（255.255.255.0）を選択します。
③必要に応じて「DNS サーバー」の IP アドレスを入力します。
④「設定」ボタンをクリックします。
⑤上位接続先ルーター等が有れば、「デフォルトルートを設定」をクリックして、固定経路を設定します。

5.　「スタティックルートの設定」画面を表示します。

6.　「スタティックルートの設定」画面で、以下の設定を行います。

7.　「ルートの追加」設定が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。

設定例

①ルートの追加で、「宛先 IP アドレス」を空欄にします。

②「宛先サブネットマスク」16（255.255.0.0）を選択します。

③ネクストホップで、「IP アドレス」ルーター等の IP アドレス 192.168.10.1 を入力します。

④「追加」ボタンをクリックします。

2.3 IP電話の詳細設定

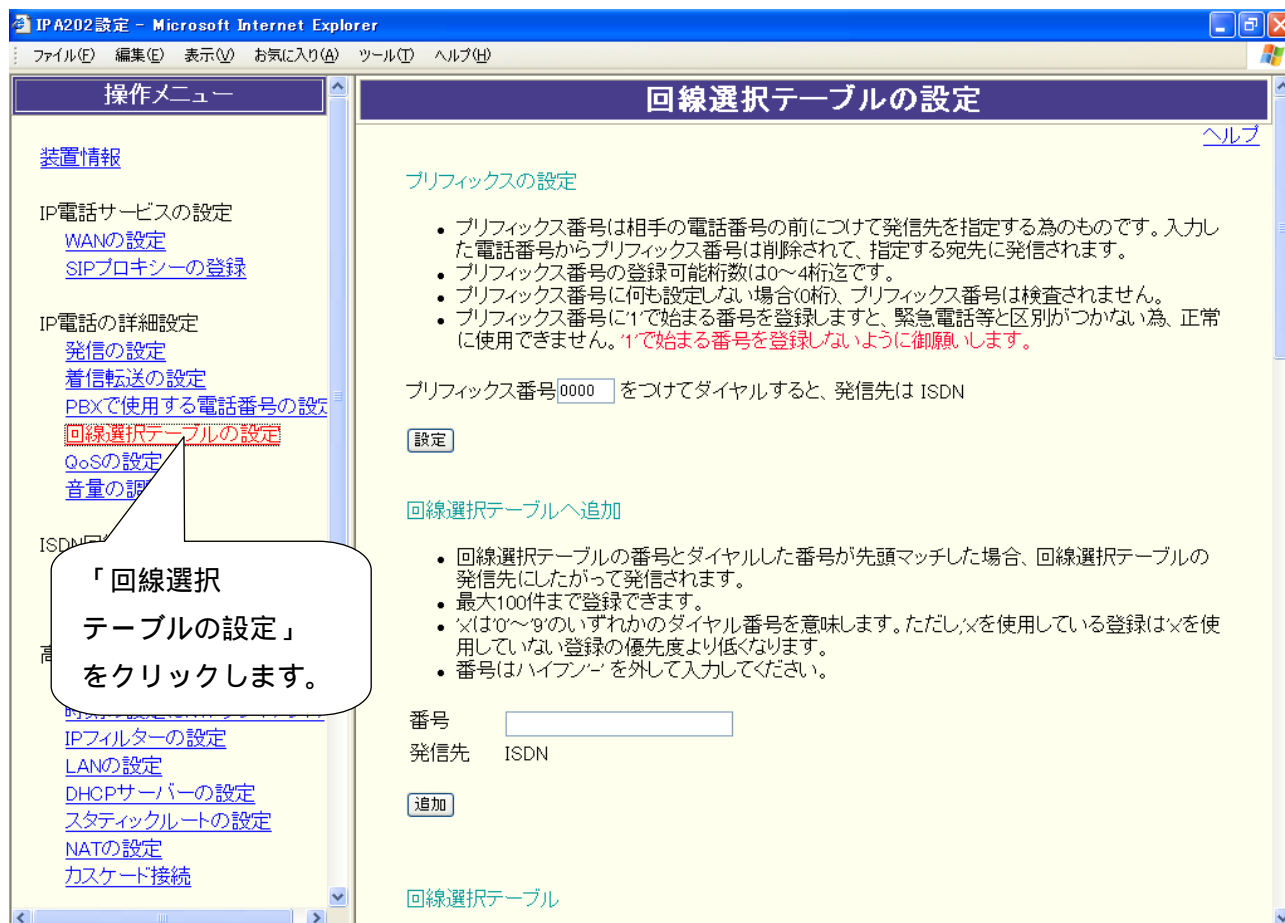
設定項目には、下記項目があります。

- 回線選択テーブルの設定
- ＱｏＳの設定
- 音量の設定

各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

2.3.1 回線選択テーブルの設定

「プリフィックスの設定」・「回線選択テーブルへ追加」・「回線選択テーブルの削除」をします。

1. 「操作メニュー」から「IP 電話の詳細設定」の「回線選択テーブルの設定」をクリックします。
2. 「回線選択テーブルの設定」画面が表示されます。

2.3.1.1 プリフィックスの設定

ISDN 回線へ直接発信するには、電話番号の先頭にプリフィックス番号（初期値：0000）を付加しますが、このプリフィックス番号を設定します。

1. 「プリフィックスの設定」の「プリフィックス番号」を入力します。
2. 入力が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

回線選択テーブルの設定

ヘルプ

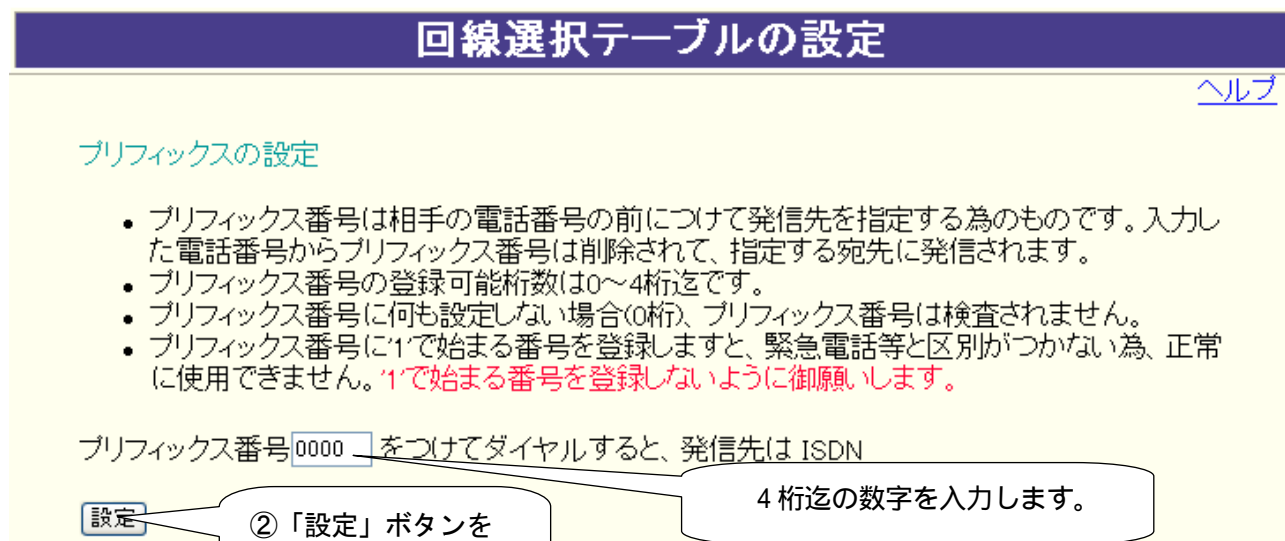
プリフィックスの設定

- プリフィックス番号は相手の電話番号の前につけて発信先を指定する為のものです。入力した電話番号からプリフィックス番号は削除されて、指定する宛先に発信されます。
- プリフィックス番号の登録可能桁数は0～4桁迄です。
- プリフィックス番号に何も設定しない場合(0桁)、プリフィックス番号は検査されません。
- プリフィックス番号に'1'で始まる番号を登録しますと、緊急電話等と区別がつかない為、正常に使用できません。'1'で始まる番号を登録しないように御願いします。

プリフィックス番号 0000 をつけてダイヤルすると、発信先は ISDN

① 4 桁迄の数字を入力します。

設定

②「設定」ボタンをクリックします。

- **プリフィックス番号に「5555」を登録しますと正常に動作しません。「5555」を登録しないように御願いします。**

2.3.1.2 回線選択テーブルへ追加

プリフィックス番号を使わずに直接 ISDN 回線へ発信するには、回線選択テーブルへ登録が必要です。（例えば、番号 03 を回線選択テーブルへ追加しますと、03 で始まる電話番号は総て直接 ISDN 回線へ発信します。また、相手先電話番号を追加する場合は市外局番号から登録してください。）

1. **「回線選択テーブルへ追加」の「番号」を入力します。**
2. **入力が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。**

回線選択テーブルへ追加

- 回線選択テーブルの番号とダイヤルした番号が先頭マッチした場合、回線選択テーブルの発信先にしたがって発信されます。
- 最大100件まで登録できます。
- 'x'は'0'～'9'のいずれかのダイヤル番号を意味します。ただし,'x'を使用している登録は'x'を使用していない登録の優先度より低くなります。
- 番号はハイフン'-' を外して入力してください。

2.3.1.3 回線選択テーブルの削除

回線選択テーブルへ追加した電話番号を削除できます。

1. **「回線選択テーブルへ追加」した番号を選択し、「削除」ボタンをクリックします。**

回線選択テーブル

- 回線選択テーブルにマッチしない場合、発信先はVoIPになります。
- 工場出荷時にあらかじめ設定されてある登録は削除できません。
- '0'だけ登録しますと、'0'で始まる電話番号は全てISDN発信と見なされ、IP通話ができなくなります。

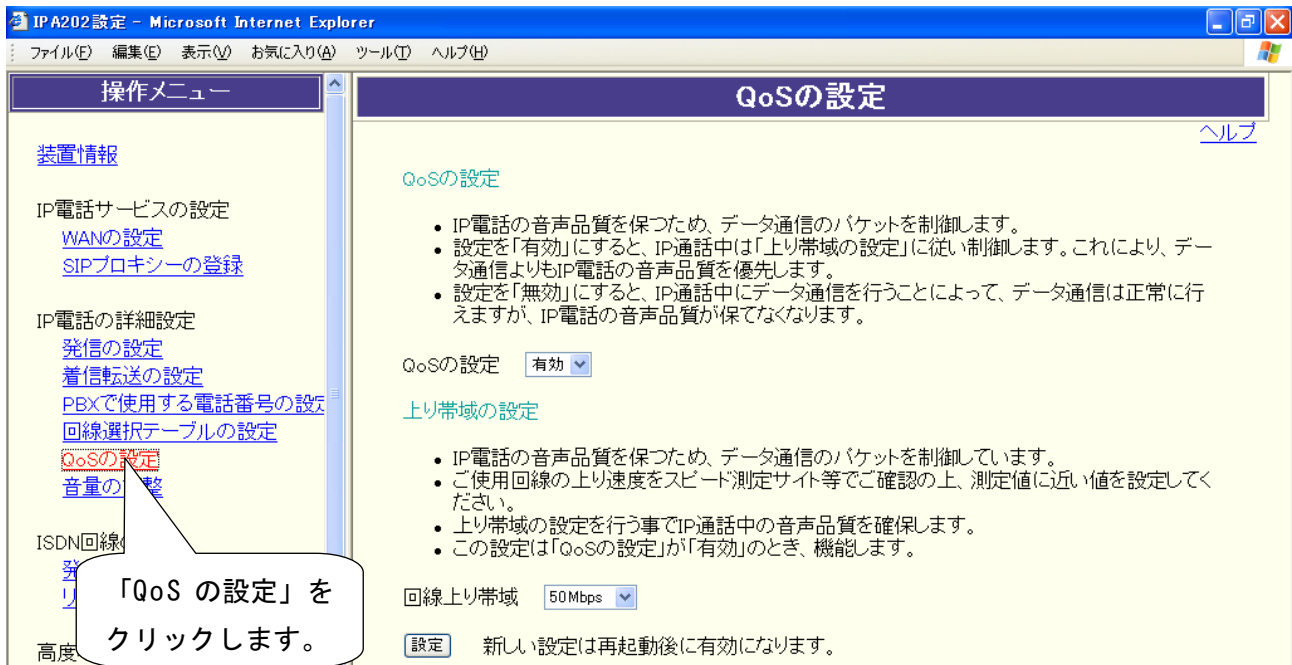
No.	番号	発信先	
1	0120	VoIP	
2	0170	ISDN	
3	0180	ISDN	

2.3.2 QoS の設定

IP 電話の音声品質を保つため、データ通信のパケットを制御します。

2.3.2.1 QoS を有効（IP 電話で 8 通話チャンネル迄ご利用の場合）

上り帯域を適切な設定を行うことによりデータ通信よりも IP 電話の音質を確保します。

1. 「操作メニュー」から「IP 電話の詳細設定」の「QoS の設定」をクリックします。
2. 「QoS の設定」画面が表示されます。

3. 「QoS の設定」画面で、「QoS の設定」を「有効」に設定します。
4. IP 電話の音声品質を保つ為に、ご使用回線の上り速度をスピード測定サイト等でご確認の上、測定値に近い値を「上り帯域の設定」に設定します。

上り帯域の設定

- IP電話の音声品質を保つため、データ通信のパケットを制御しています。
- ご使用回線の上り速度をスピード測定サイト等でご確認の上、測定値に近い値を設定してください。
- 上り帯域の設定を行う事でIP通話中の音声品質を確保します。
- この設定は「QoSの設定」が「有効」のとき、機能します。

回線上り帯域 50Mbps

該当回線上り帯域を選択します。

設定 新しい設定は再起動後に有効になります。

「設定」ボタンをクリックします。

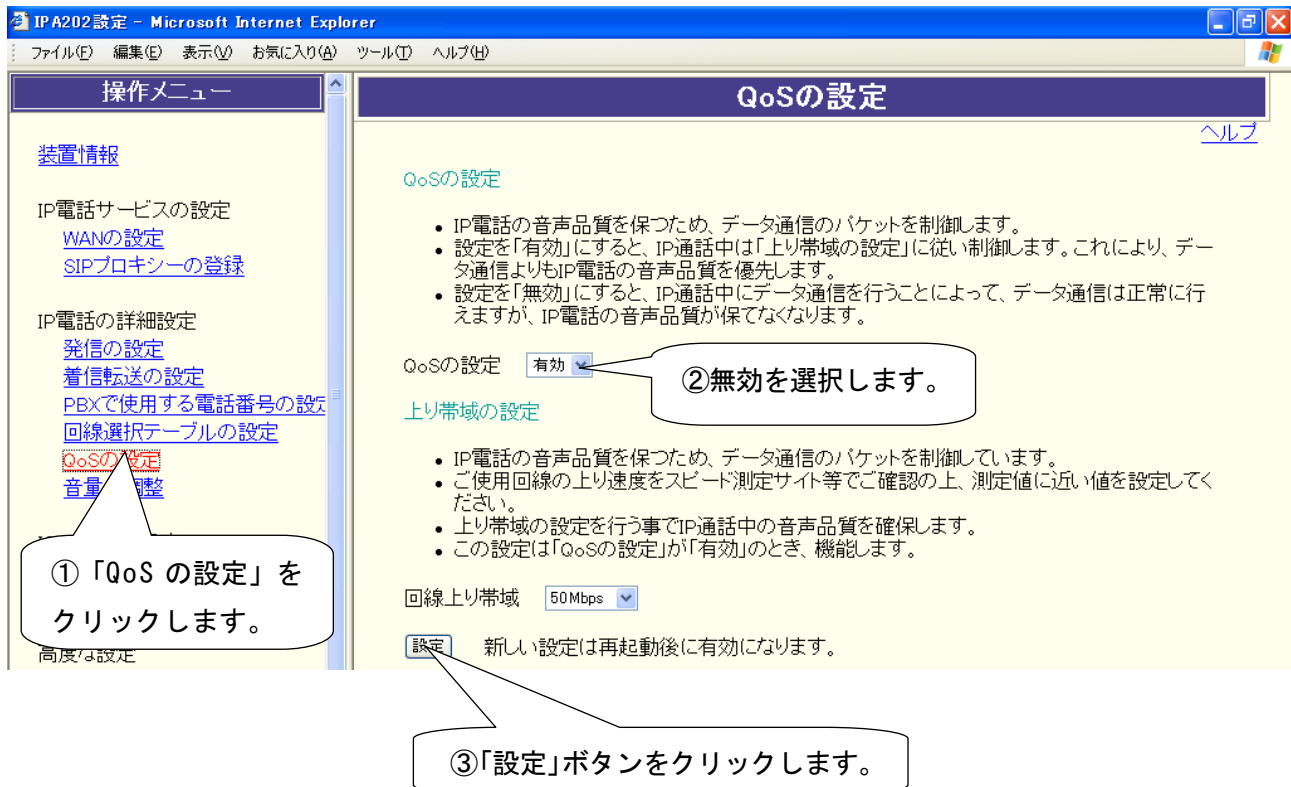
5. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。
6. 「装置の再起動」画面が表示されます。
7. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。

ご参考

回線上り帯域は、ご使用回線の上り速度をスピード測定サイト等でご確認の上、250Kbps、400Kbps、600Kbps、800Kbps、1Mbps、3Mbps、5Mbps、10Mbps、30Mbps、50Mbps（初期値）の内で測定値より少し低い値を設定してください。

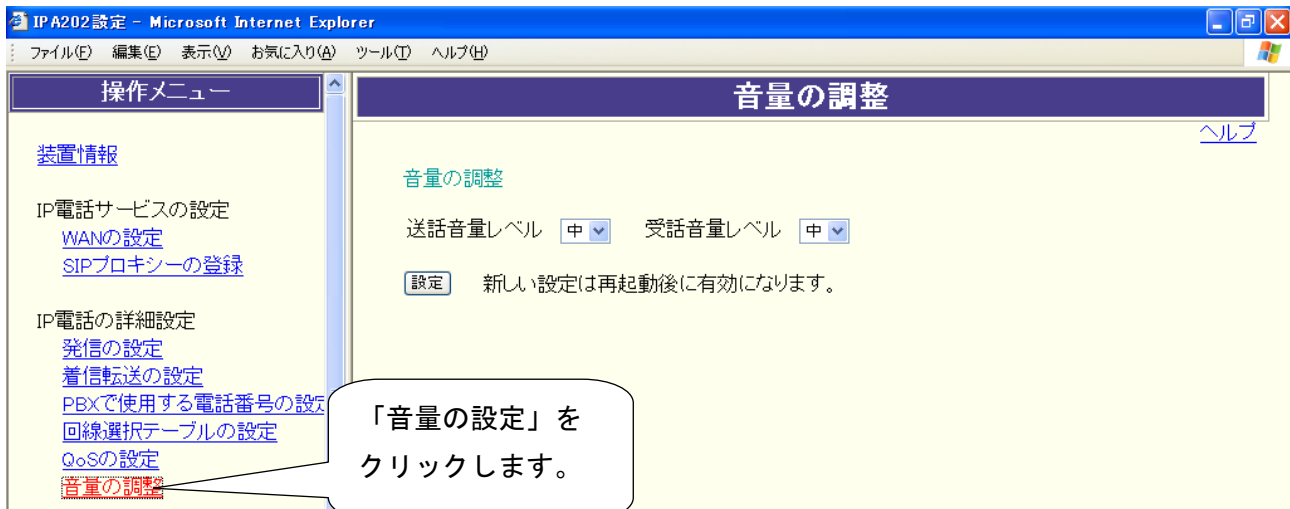
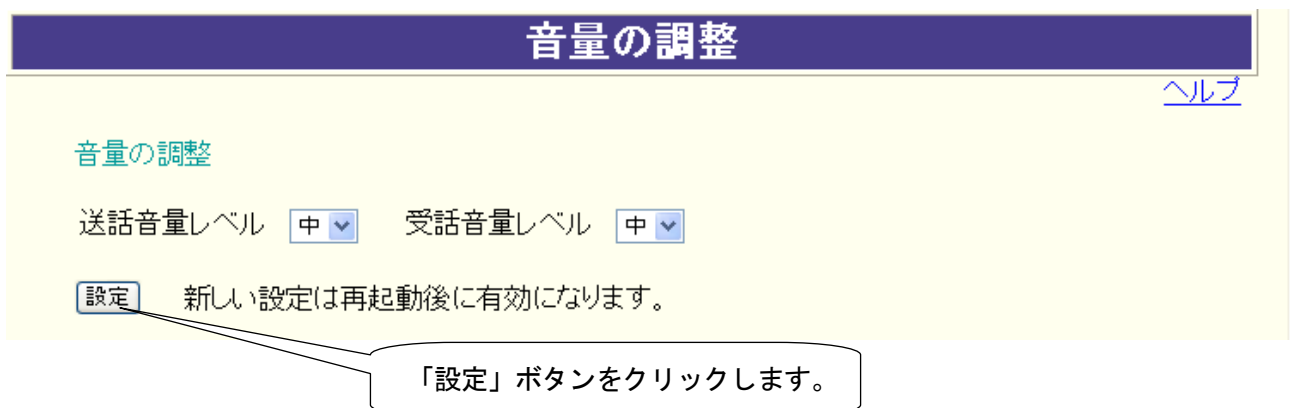
2.3.2.2 QoS を無効（IP 電話で 12 通話チャンネル迄ご利用の場合）

IP 電話で 9 通話チャンネル以上 12 通話チャンネル迄ご利用の場合、QoS を「無効」に設定します。但し、IP 電話中にデータ通信を行うと IP 電話の音質は保てなくなります。（その他 設定や接続は、「2.4.8.1 IP 電話で 12 通話チャンネル迄ご利用の場合」をご参照ください）

1. 「操作メニュー」から「IP 電話の詳細設定」の「QoS の設定」をクリックします。
2. 「QoS の設定」画面が表示されます。

3. 「QoS の設定」画面で、「QoS の設定」を「無効」に設定します。
4. 「設定」ボタンをクリックします。
5. 「装置の再起動」画面が表示されます。
6. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。

2.3.3 音量の調整

IP 電話の音量を調整します。

1. 「操作メニュー」から「IP 電話の詳細設定」の「音量の調整」をクリックします。
2. 「音量の調整」画面が表示されます。

3. 「音量の調整」画面で、以下の設定を行います。
4. 「音量の調整」設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

□ が初期値です。

	大	中	小
送話音量レベル	０ｄＢ	－２ｄＢ	－４ｄＢ
受話音量レベル	０ｄＢ	－６ｄＢ	－１２ｄＢ

上記仕様は、予告なく変更する場合が有ります。

5. 設定を有効にするために再起動してください。

- 送話音量レベルの変更は、管理者モードで可能です。ユーザーモードでは変更できません。

2.4 高度な設定

設定項目には、下記項目があります。

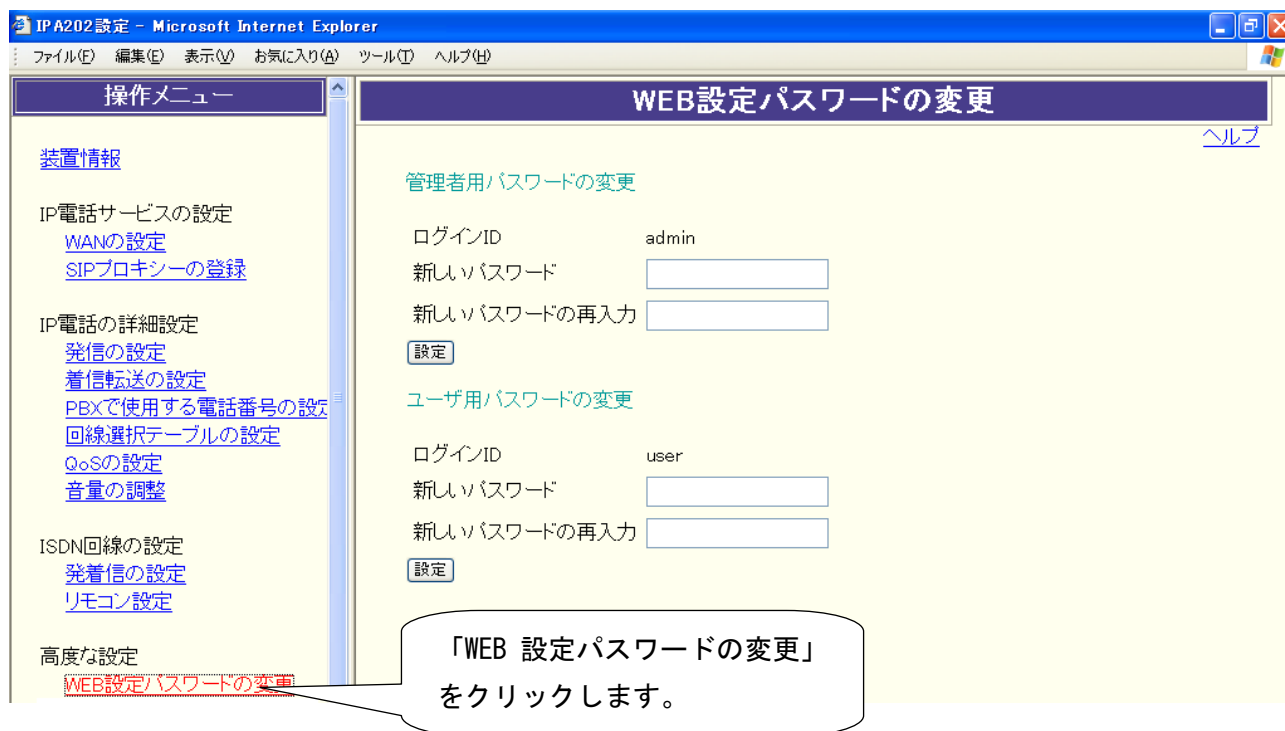
- ＷＥＢ設定パスワードの変更
- 時刻の設定（ＳＮＴＰクライアント）
- ＩＰフィルターの設定
- ＬＡＮの設定
- ＤＨＣＰサーバーの設定
- スタティックルートの設定
- ＮＡＴの設定
- カスケード接続

各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

2.4.1 WEB 設定パスワードの変更

パスワードには「管理者用パスワード」と「ユーザー用パスワード」があります。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「WEB 設定パスワードの変更」をクリックします。
2. 「WEB 設定パスワードの変更」画面が表示されます。

ご注意

- 運用開始時には安全管理の為にパスワードを変更してください。
- パスワードは最小 1 文字、最大 15 文字半角英数字です。大文字小文字の区別をします。
- 管理者用パスワードの変更は、管理者モードで可能です。ユーザーモードでは変更できません。

3.　例えば、「管理者用パスワードの変更」の場合、「新しいパスワード」と「新しいパスワードの再入力」に同じパスワードを入力します。入力が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。(パスワードは最小１文字、最大 15 文字半角英数字です。大文字小文字の区別をします。)

2.4.2 時刻の設定（SNTP クライアント）

指定した SNTP/NTP サーバーから定期的　時刻情報を取得します。(工場出荷値で問題なく機能致します。)本機が起動したとき、及び同期間隔ごとに時刻情報を取得します。

1.　「操作メニュー」から「高度な設定」の「時刻の設定（SNTP クライアント)」をクリックします。
2.　「時刻の設定（SNTP クライアント)」画面が表示されます。

3. 時刻情報を取得するために SNTP/NTP サーバーを指定します。リストから SNTP サーバーを選択するか、SNTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力してください。 直接入力にデータが設定されている場合、リストで選択されたサーバーは反映されません。
4. 設定した同期間隔に時刻情報を取得します。同期間隔を短くすると NTP サーバーとのトラフィックを増やす事になり、負荷が増えて時刻補正が困難になります。適切な時間を設定してください。
5. 設定した補正範囲で時刻を補正します。

6. 設定が完了し、「設定」ボタンをクリックしますと下記メッセージを表示します。
7. 「装置を再起動する」ボタンをクリックしますと設定を有効にします。再起動すると、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。
8. 「あとで装置を再起動する」ボタンをクリックしますと設定は有効にはなりませんが、次の項目の設定が可能です。

2.4.3 IP フィルターの設定

不用意なトラブルやセキュリティの確保の為に、IP フィルターの設定を行います。

フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合がありますのでご注意ください。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「IP フィルターの設定」をクリックします。
2. 「IP フィルタールール」画面が表示されます。

3. 「IP フィルタールール」には、「追加」「削除」「編集」「コピー」「↓」「↑」の項目があります。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるIPフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート 入力	出力	送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	プロトコル					
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス:全てのポート	全てのアドレス:137 ～ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス:全てのポート	全てのアドレス:445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス:全てのポート	全てのアドレス:68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス:全てのポート	全てのアドレス:1 ～ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

追加

- パケットは IP フィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してある IP フィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IP フィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当する IP フィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

2.4.3.1 IP フィルターの追加

新たに、特定の IP パケットを遮断したり通過させるには、IP フィルターの追加をします。

1. 「IP フィルタールール」の「追加」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるIPフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	プロトコル					
		入力	出力								
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：137 ～ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：1 ～ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

追加

「追加」ボタンをクリックします。

2. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面が表示されます。
3. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面で、以下の設定を行います。
4. 登録が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールールの追加/編集

- フィルタールールをすべてのIPアドレスに適用する場合は、IPアドレスとネットマスクを 0 にしてください。
- TCP/UDPポートの範囲を割り当てる場合は最小と最大のポート番号を[-]ハイフンでつないで入力してください。
- フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合があります。

制御　遮断

送信元
IPアドレス　. . .　ネットマスク　0 (0.0.0.0)　TCP/UDPポート

宛先
IPアドレス　. . .　ネットマスク　0 (0.0.0.0)　TCP/UDPポート

プロトコル　全て

適用するタイミング　入力

適用するポート　LAN ☐　WAN ☑　PPPoE0 ☑　PPPoE1 ☑　PPPoE2 ☑　PPPoE3 ☑　PPPoE4 ☑　PPP

設定

「設定」ボタンをクリックします。

□ が初期値です。

項　目	設　定	内　容
制御	遮断	IP パケットのうちで遮断する IP パケットを登録します。
	通過	特定の IP パケットを通過する IP パケットを登録します。
送信元	IP パケット送信元	
IP アドレス	－	IP アドレスを入力します。　設定例　xxx.xxx.xxx.xxx
ネットマスク	0-32	0(0.0.0.0)～32(255.255.255.255) ネットマスクを選択します。
TCP/UDP ポート	－	TCP/UDP ポート番号を入力します。(0-65535)
宛先	IP パケット受け取り先	
IP アドレス	－	IP アドレスを入力します。　設定例　xxx.xxx.xxx.xxx
ネットマスク	0-32	0(0.0.0.0)～32(255.255.255.255) ネットマスクを選択します。
TCP/UDP ポート	－	TCP/UDP ポート番号を入力します。(0-65535)
プロトコル	全て GRE	全て／ICMP／IGMP／TCP／UDP／RSVP／OSPF／TCP/UDP／GRE／指定 プロトコルを選択します。
適応する タイミング	入力	入力する IP パケットを指定します。
	出力	出力する IP パケットを指定します。
適応するポート	LAN PPPoE7	LAN／WAN／PPPoE0～PPPoE7 適応するポートを選択します。

ご注意

- フィルタールールをすべての IP アドレスに適用する場合は、IP アドレスとネットマスクを 0 にしてください。
- TCP/UDP ポートの範囲を割り当てる場合は最小と最大のポート番号を[-]ハイフンでつないで入力してください。
- フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合があります。

2.4.3.2 IP フィルターの削除

登録済みの IP フィルターを削除するには、削除する IP フィルターの設定の行にある「削除」ボタンをクリックします。

2.4.3.3 IP フィルターの編集

登録済みの IP フィルターを変更するには、変更する IP フィルターの設定の行にある「編集」ボタンをクリックします。

1. 「IP フィルタールール」の「編集」ボタンをクリックします。

No.	制御	適用ポート		送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート]	プロトコル					
		入力	出力								
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：137 ～ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：1 ～ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

2. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面が表示されます。
3. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面で、以下の設定を行います。（設定項目の説明は、「2.4.3.1 IP フィルターの追加」をご参照ください。）
4. 編集が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールールの追加/編集

- フィルタールールをすべてのIPアドレスに適用する場合は、IPアドレスとネットマスクを 0 にしてください。
- TCP/UDPポートの範囲を割り当てる場合は最小と最大のポート番号を[-]ハイフンでつないで入力してください。
- フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合があります。

制御　遮断
送信元
IPアドレス　. . .　ネットマスク　0 (0.0.0.0)　TCP/UDPポート
宛先
IPアドレス　. . .　ネットマスク　0 (0.0.0.0)　TCP/UDPポート

プロトコル　全て

適用するタイミング　入力

適用するポート　LAN ☐　WAN ☑　PPPoE0 ☑

設定

「設定」ボタンを
クリックします。

2.4.3.4 IP フィルターのコピー

該当する IP フィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。コピーする IP フィルターの設定の行にある「コピー」ボタンをクリックします。

1. 「IP フィルタールール」の「コピー」ボタンをクリックします。

2. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面が表示されます。

3. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面で、以下の設定を行います。（設定項目の説明は、「2.4.3.1 IP フィルターの追加」をご参照ください。）

4. 編集が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールールの追加/編集

- フィルタールールをすべてのIPアドレスに適用する場合は、IPアドレスとネットマスクを 0 にしてください。
- TCP/UDPポートの範囲を割り当てる場合は最小と最大のポート番号を[-]ハイフンでつないで入力してください。
- フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合があります。

制御 遮断

送信元
IPアドレス . . . ネットマスク 0 (0.0.0.0) TCP/UDPポート

宛先
IPアドレス . . . ネットマスク 0 (0.0.0.0) TCP/UDPポート

プロトコル 全て

適用するタイミング 入力

適用するポート LAN ☐ WAN ☑ PPPoE0 ☑

設定

「設定」ボタンを
クリックします。

2.4.3.5 IP フィルタールールの順位を下げる

IP フィルタールールの順位を下げる場合は↓ボタンを押します。順位を下げる IP フィルターの設定の行にある「↓」ボタンをクリックします。

1.　「IP フィルタールール」の「↓」ボタンをクリックします。

2.　「IP フィルタールール」が移動している事を確認します。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるIPフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート 入力	適用ポート 出力	送信元IPアドレス/ネットマスク[：ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[：ポート]	プロトコル					
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：137 ～ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：1 ～ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

追加

ご注意

- パケットは IP フィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してある IP フィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。

2.4.3.6 IP フィルターの順位を上げる

IP フィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を上げる IP フィルターの設定の行にある「↑」ボタンをクリックします。

1.「IP フィルタールール」の「↑」ボタンをクリックします。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断
  のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

No.	制御	適用ポート 入力	適用ポート 出力	送信元IPアドレス/ネットマスク[：ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[：ポート]	プロトコル					
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：137 ～ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：1 ～ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

追加

2.「IP フィルタールール」が移動している事を確認します。

IPフィルターの設定

IPフィルタールール

- パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるIPフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

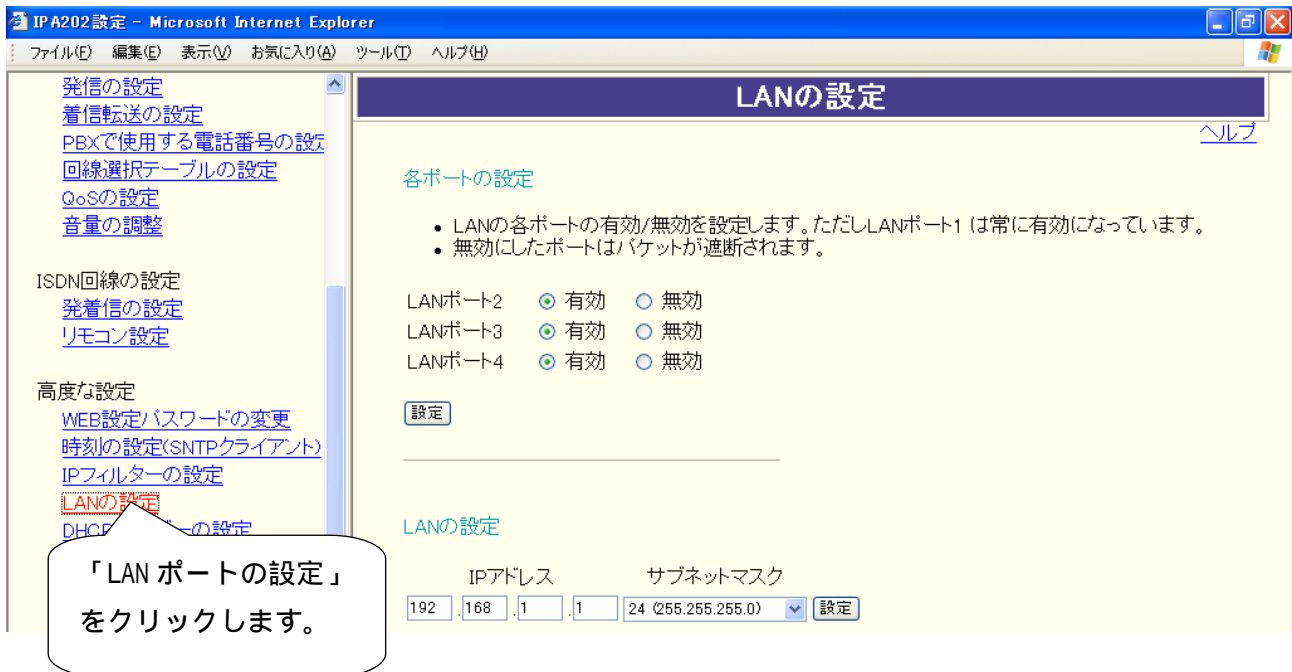
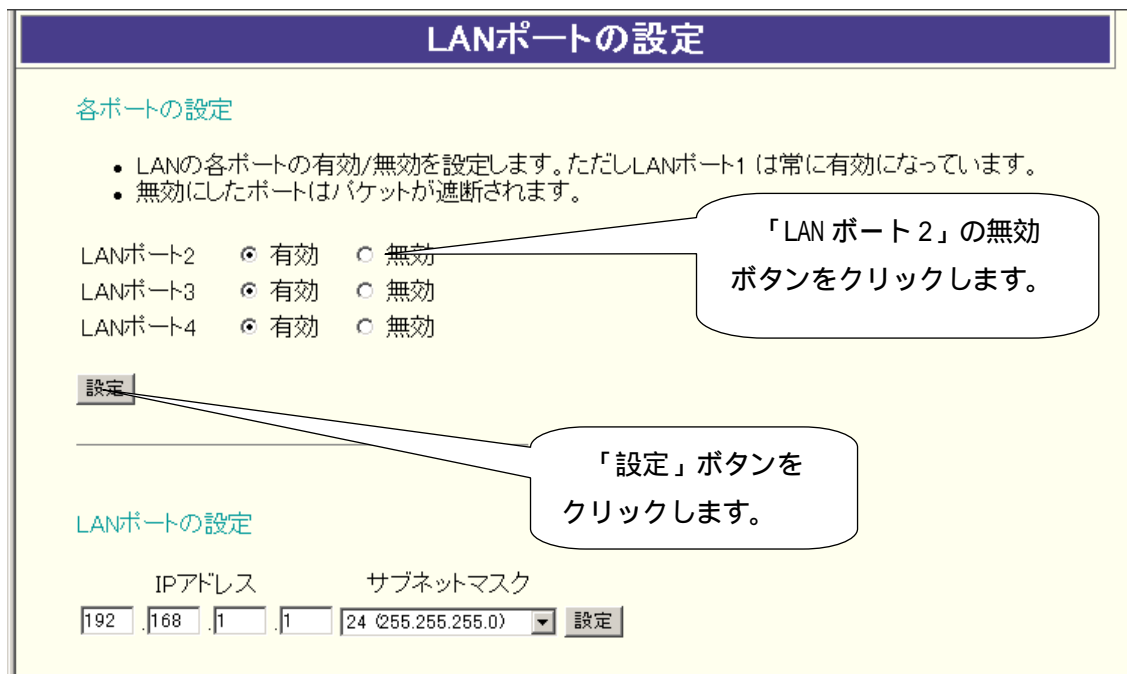
No.	制御	適用ポート 入力	適用ポート 出力	送信元IPアドレス/ネットマスク[：ポート]	宛先IPアドレス/ネットマスク[：ポート]	プロトコル					
1	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：445	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
2	遮断	全て	LAN以外	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：137 ～ 139	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
3	通過	LAN以外	全て	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：68	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑
4	遮断	LAN以外	全て	全てのアドレス：全てのポート	全てのアドレス：1 ～ 1023	TCP/UDP	削除	編集	コピー	↓	↑

追加

- パケットは IP フィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してある IP フィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。

2.4.4 LAN の設定

LAN2～4 まで有効／無効の設定をします。

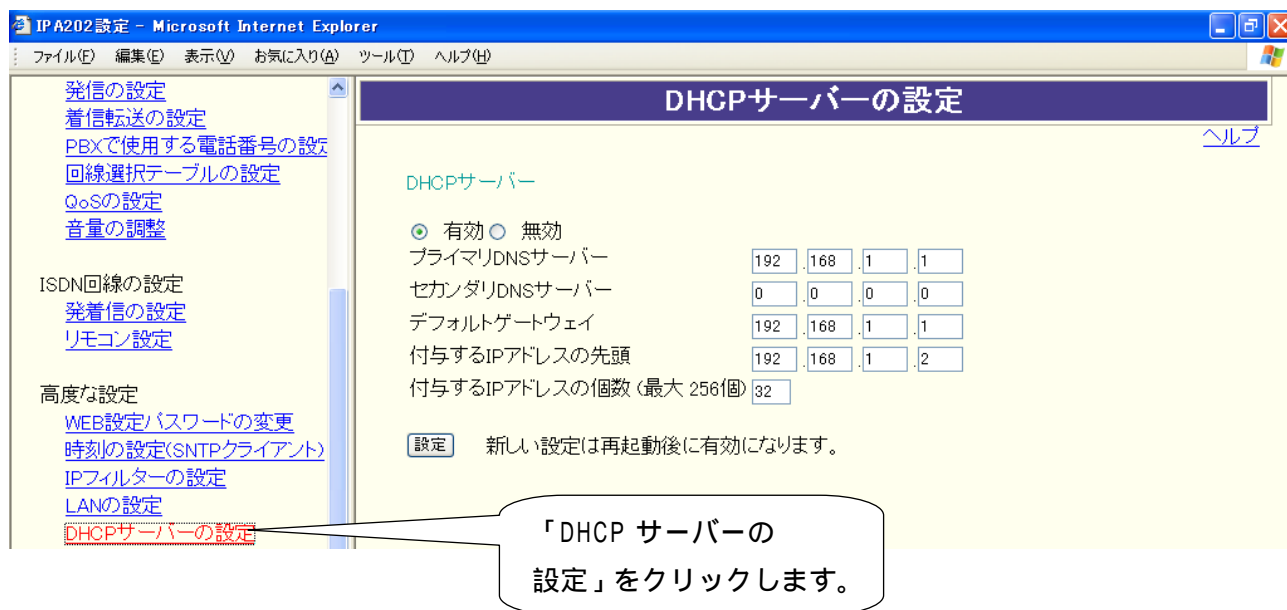
1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「LAN の設定」をクリックします。
2. 「LAN の設定」画面が表示されます。

3. LAN ポートを「無効」に設定するには、「各ポートの設定」で LAN ポート 2～4 を指定します。
   設定例として、「LAN ポート 2」を無効にして「設定」ボタンをクリックします。

4. LAN ポート側の IP アドレスを設定するには、「LAN ポートの設定」で IP アドレスを入力しサブネットマスクを指定します。

5. LAN の設定内容確認表示がされます。表示内容に問題が無ければ、設定を有効にするために画面下の「装置を再起動する」ボタンをクリックしてください。

- LAN ポート１は常に有効になっています。無効にはできません。
- 無効にしたポートはパケットが遮断されます。
- LAN ポートの設定変更を行いますと、DHCP サーバー・IP マスカレードの設定も連動して変更されます。

2.4.5 DHCP サーバーの設定

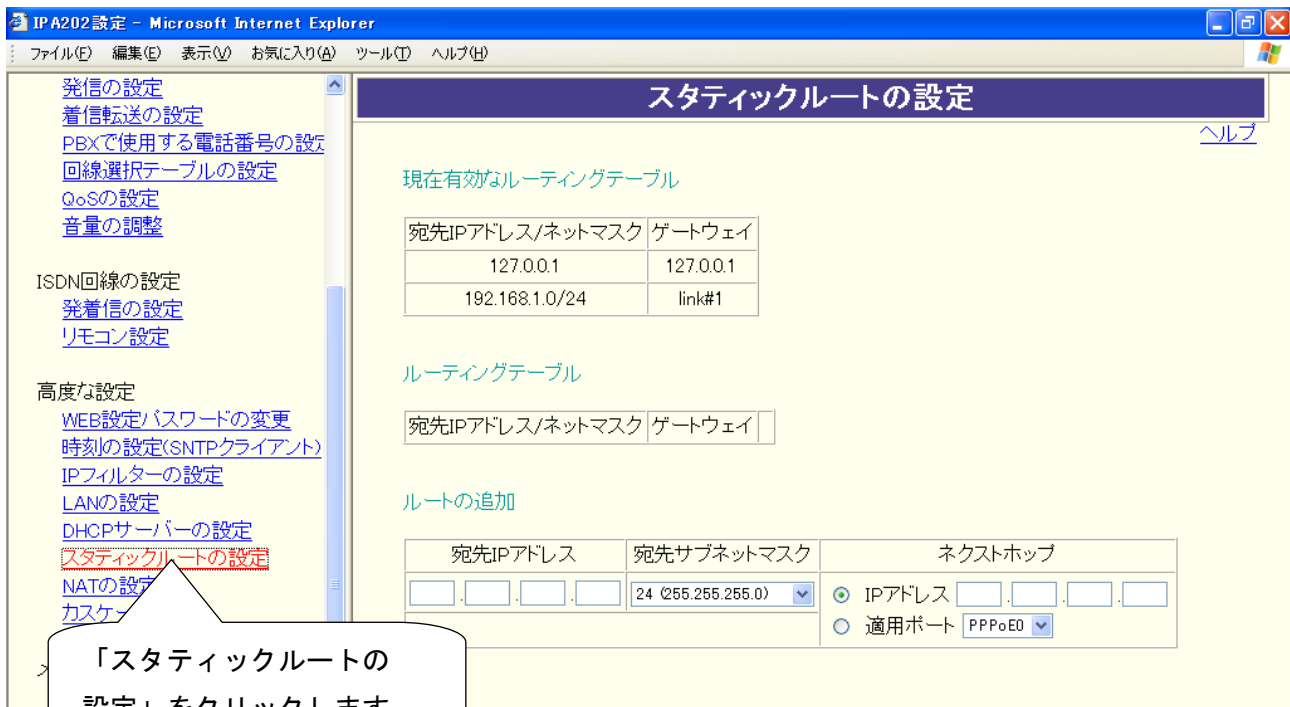
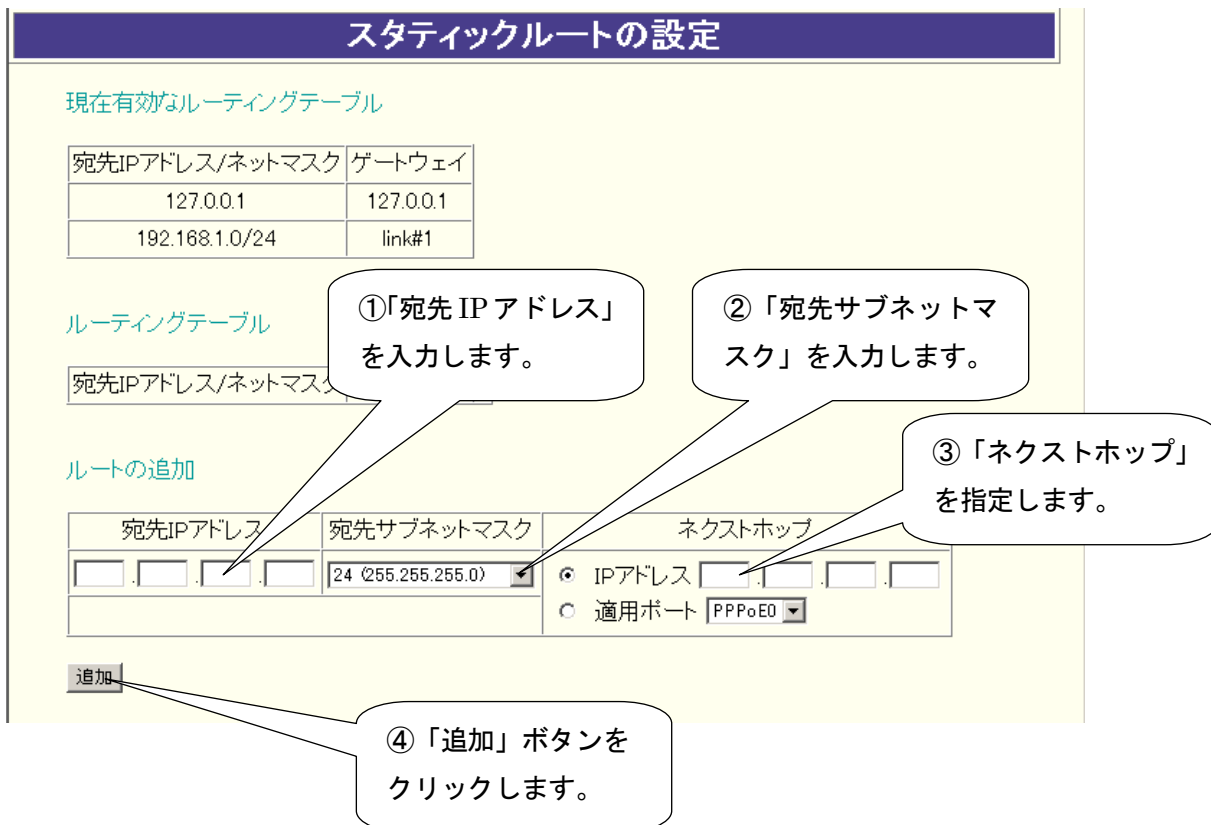
本機を DHCP サーバーと DNS サーバーとして機能させるかを設定します。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「DHCP サーバーの設定」をクリックします。
2. 「DHCP サーバーの設定」画面が表示されます。

3. 「DHCP サーバーの設定」画面で、以下の設定を行います。
4. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

5. 再起動の選択画面が表示されます。設定を有効設定を有効にするために「装置を再起動する」ボタンをクリックしてください。

2.4.6 スタティックルートの設定

上位接続先ルータへ固定経路を設定します。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「スタティックルートの設定」をクリックします。
2. 「スタティックルートの設定」画面が表示されます。

3. 「スタティックルートの設定」画面で、以下の設定を行います。
4. 「ルートの追加」設定が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。

2.4.7 NAT の設定（IP マスカレード・ポートマッピング）

NAT の設定します。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「NAT の設定」をクリックします。
2. 「NAT の設定」画面が表示されます。

IPA202設定 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　お気に入り(A)　ツール(T)　ヘルプ(H)

発信の設定
着信転送の設定
PBXで使用する電話番号の設定
回線選択テーブルの設定
QoSの設定
音量の調整

ISDN回線の設定
発着信の設定
リモコン設定

高度な設定
WEB設定パスワードの変更
時刻の設定(SNTPクライアント)
IPフィルターの設定
LANの設定
DHCPサーバーの設定
スタティックルートの設定
NATの設定
カスケード接続

設定の初期化
設定ファイルの書き込み/取得

「NAT の設定」を
クリックします。

NATの設定

ヘルプ

IPマスカレード

- IPマスカレードでは、宛先によって自動的にWANポートのIPアドレスが選択されます。

ローカルIPアドレス	ローカルサブネットマスク	
192.168.1.0	24(255.255.255.0)	削除

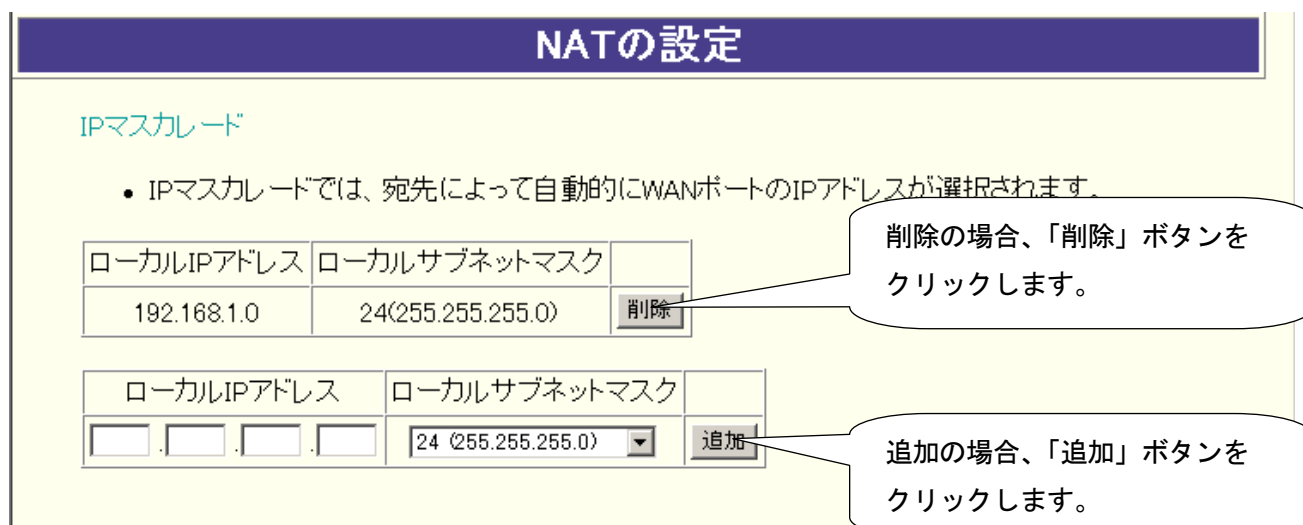
ローカルIPアドレス	ローカルサブネットマスク	
. . .	24 (255.255.255.0)	追加

ポートマッピング

- ポートマッピング機能を使用するには、IPマスカレードの設定をする必要があります。
- ローカルホストをIPアドレスもしくはMACアドレスで指定してください。MACアドレスを指定する場合は、DHCPサーバーの設定が必要になります。設定メニューの"LANポートの設定"で確認してください。
- リモートホストを指定しない場合は、全てのリモートホストからのパケットがポートマッピングの対象になります。

適用ポート	プロトコル	ポート番号	ローカルホスト		リモートホスト
			IPアドレス	MACアドレス	IPアドレス/ネットマスク

適用ポート　--
プロトコル　TCP
ポート番号　有効にするポート番号
　　　　　　有効にするポート番号の範囲　～

3. 「IP マスカレード」画面で、以下の設定を行います。
4. 「IP マスカレード」設定が完了したら、「削除」又は「追加」ボタンをクリックします。

5. ポートマッピングを設定するには、「NAT の設定」の「ポートマッピング」画面で設定を行います。

6. 新たに、特定のポートマッピングを追加するには以下の設定を行います。設定が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。

7. 登録済みのポートマッピングを削除するには、削除するポートマッピングの設定の行にある「削除」ボタンをクリックします。

ポートマッピング

- ポートマッピング機能を使用するには、IPマスカレードの設定をする必要があります。
- ローカルホストをIPアドレスもしくはMACアドレスで指定してください。MACアドレスを指定する場合は、DHCPサーバーの設定が必要になります。設定メニューの"LANポートの設定"で確認してください。
- リモートホストを指定しない場合は、全てのリモートホストからのパケットがポートマッピングの対象になります。

適用ポート	プロトコル	ポート番号	ローカルホスト		リモートホスト	
			IPアドレス	MACアドレス	IPアドレス/ネットマスク	
PPPoE0	TCP	10000	192.168.1.10	設定されていません	設定されていません	削除

削除の場合、「削除」ボタンをクリックします。

適用ポート --

プロトコル TCP

ポート番号 ◉ 有効にするポート番号 ○ 有効にするポート番号の範囲 ~

ローカルホスト ◉ IPアドレス . . . ○ MACアドレス - - - - -

リモートホスト

IPアドレス	サブネットマスク
. . .	8 (255.0.0.0)

追加

追加の場合、「追加」ボタンをクリックします。

□ が初期値です。

項　目	設　定	内　容
適応ポート	-- WAN PPPoE0-7	--／WAN／PPPoE0～PPPoE7 適応するポートを選択します。
プロトコル	TCP UDP	TCP／UDP 指定プロトコルを選択します。
ポート番号（ポート番号かポート番号の範囲を指定が可能です。）		
ポート番号	－	ポート番号を入力します。(0-65535)
ポート番号の範囲	－	ポート番号の範囲を入力します。(0～65535)
ローカルホスト（IP アドレスか MAC アドレスを指定が可能です。）		
IP アドレス	－	IP アドレスを入力します。設定例　xxx.xxx.xxx.xxx
MAC アドレス	－	MAC アドレスを入力します。設定例　xx-xx-xx-xx-xx-xx
リモートホスト		
IP アドレス	－	IP アドレスを入力します。設定例　xxx.xxx.xxx.xxx
サブネットマスク	8-32	8(255.0.0.0)～32(255.255.255.255) サブネットマスクを選択します。

2.4.8 カスケード接続（IP 電話を同時 3 通話以上使用するには）

IP 電話を同時 3 通話以上使用するには IPA シリーズを複数台と、通話に必要な IP 電話の契約数が必要です。カスケード接続の場合、フュージョン GOL（インターネットプロバイダー）を１契約で最大 16 通話（最大通話については 2.4.8.2 項をご参照ください）まで可能です。

- カスケード接続の設定は、工場出荷状態で行う必要があります。設定の初期化は、カスケードの設定画面から行えます。
- カスケードの設定は、親機又はルーターから子機 1～4 へと順番に行います。順番が異なると正常に動作しない場合があります。
- 「カスケード接続」の設定後、「WAN の設定」や「IP 電話サービスの設定」を行います。
- 「WAN の設定」は親機又はルーターのみに行います。「IP 電話サービスの設定」は機器毎（ルーター以外）に行います。

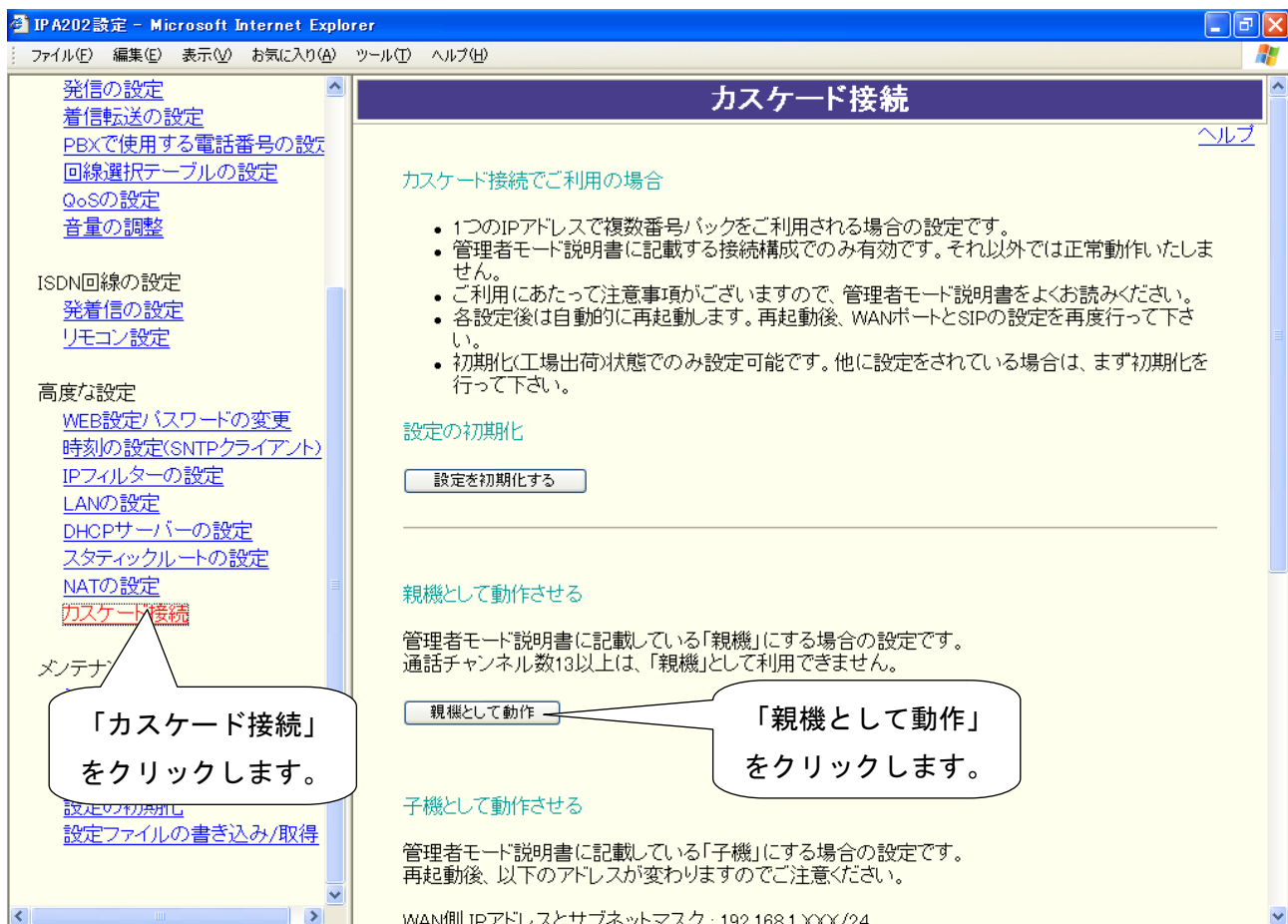
ご注意

- ご準備として、契約書（IP-Phone サービス開始のご案内）をご用意の上、ルーター・親機・子機 1～4 の割り当てを決める必要があります。設定を誤りますと正常に動作しません。
- 子機に設定しますと、子機の LAN ポートでは接続した子機の Web 設定のみ可能です。
- IP 網の回線速度は、少なくとも一通話あたり上り下り共安定して約 150kbps 以上必要です。回線速度が遅いと通話品質が落ちたり通話できないことがあります。
- IP 電話で通話中にデータ通信を行うと、IP 電話の音声品質が保てなくなることが有ります。その場合は、「2.3.2 QoS の設定」をご参照いただいて設定変更されますと改善される事があります。基本的にデータ通信は控えて頂く事で音声品質を安定にできます。
- 親機又はルーターの LAN ポートに本機以外の接続機器を増やしますと、IP 電話に支障が出る場合があります。本機以外の接続をお控えください。
- AD ランプが点滅する場合、まず親機の PPP ランプ点灯を確認後、親機から AD スイッチを押下してバージョンアップしてください。バージョンアップが完了しましたら、PPP ランプ点灯を確認後、同様に子機 1 から順番にバージョンアップしてください。同時に複数台のバージョンアップは誤動作の原因となりますので行わないでください。
- 子機の設定方法は、IPA202・IPA402 は共通となります。但し、同時通話チャンネル数が IPA202 の場合は 2 チャンネル、IPA402 の場合は 4 チャンネルとなります。

2.4.8.1 IP 電話で 12 通話チャンネル迄ご利用の場合

2.4.8.1.1 親機の設定方法

まず親機の設定を行ってから、子機の設定を行ってください。

1. 親機と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続します。
2. Web 設定を起動する為に、URL フィールドに本機の IP アドレス「http://192.168.1.1/Exp」を入力してログインします。
3. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「カスケード接続」をクリックします。
4. 「カスケード接続」画面が表示されます。

5. 既に何か設定されている場合は、「設定を初期化する」ボタンをクリックします。
6. 「親機として動作」ボタンをクリックします。
7. 再起動してから、URL フィールドに本機の IP アドレス「http://192.168.1.1/Exp」を入力して再ログインします。
8. WAN の設定をします。（詳しくは、取扱説明書「8 本機を設定するには」をご参照ください）
9. Web 設定画面を「最新の情報に更新」してから、親機専用の「SIP プロキシーの登録」をします。（同様に、取扱説明書「8 本機を設定するには」をご参照ください）
10. 子機を 1 台接続する場合は、「メンテナンス」の「装置の再起動」をクリックして、「装置を再起動する」ボタンをクリックします。
11. 子機を 2 台接続する場合は、「IP 電話の詳細設定」の「QoS の設定」をクリックして、「QoS の設定」を「無効」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。そして、「装置を再起動する」ボタンをクリックします。
12. 本機の PPP と CA ランプが点灯することを確認します。これで親機の設定は完了します。

2.4.8.1.2 子機 1～3 の設定方法

親機の設定が終わりましたら、子機の設定を行ってください。（子機 2・子機 3 が存在しない場合があります）

子機 1 の設定方法

1. 子機 1 と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続します。
2. Web 設定を起動します。
3. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「カスケード接続」をクリックします。
4. 「カスケード接続」画面が表示されます。

5. 既に何か設定されている場合は、「設定を初期化する」ボタンをクリックします。
6. 「子機として動作させる」の「子機 1」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。
7. 再起動後の IP アドレスの確認表示が表示されます。

子機1の設定

子機1として動作させる

管理者モード説明書に記載している「子機1」にする場合の設定です。
再起動後、以下のような設定となります。

WAN側 IPアドレスとサブネットマスク : 192.168.1.101/24
LAN側 IPアドレスとサブネットマスク : 192.168.10.1/24

WAN側からWeb設定を行う場合、URLは http://192.168.1.101:56781/ となります。
LAN側からWeb設定を行う場合、URLは http://192.168.10.1:56781/ となります。

IPA202「親機」に子機を2台以上接続される場合は、「親機」の「QoSの設定」を「無効」にしてください。

子機1として動作

8. 「子機 1 として動作」ボタンをクリックします。
9. 接続パソコンを再起動します。
10. 再起動してから、URL フィールドに本機の IP アドレス「http://192.168.10.1:56781/Exp」を入力して再ログインします。
11. Web 設定画面を「最新の情報に更新」してから、子機１専用の「SIP プロキシーの登録」をします。（詳しくは、取扱説明書「8 本機を設定するには」をご参照ください）
12. これで子機 1 の設定は完了します。
13. 「2.4.8.1.3 接続方法」に従って LAN ケーブルを接続してください。

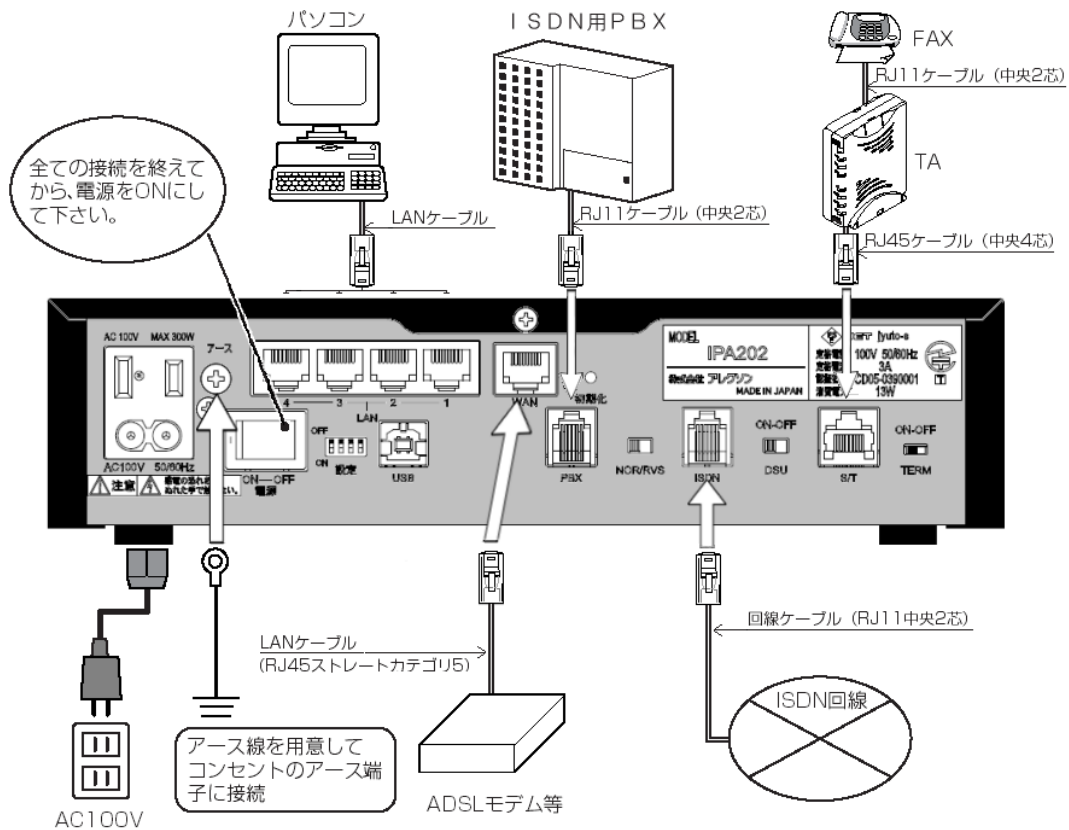
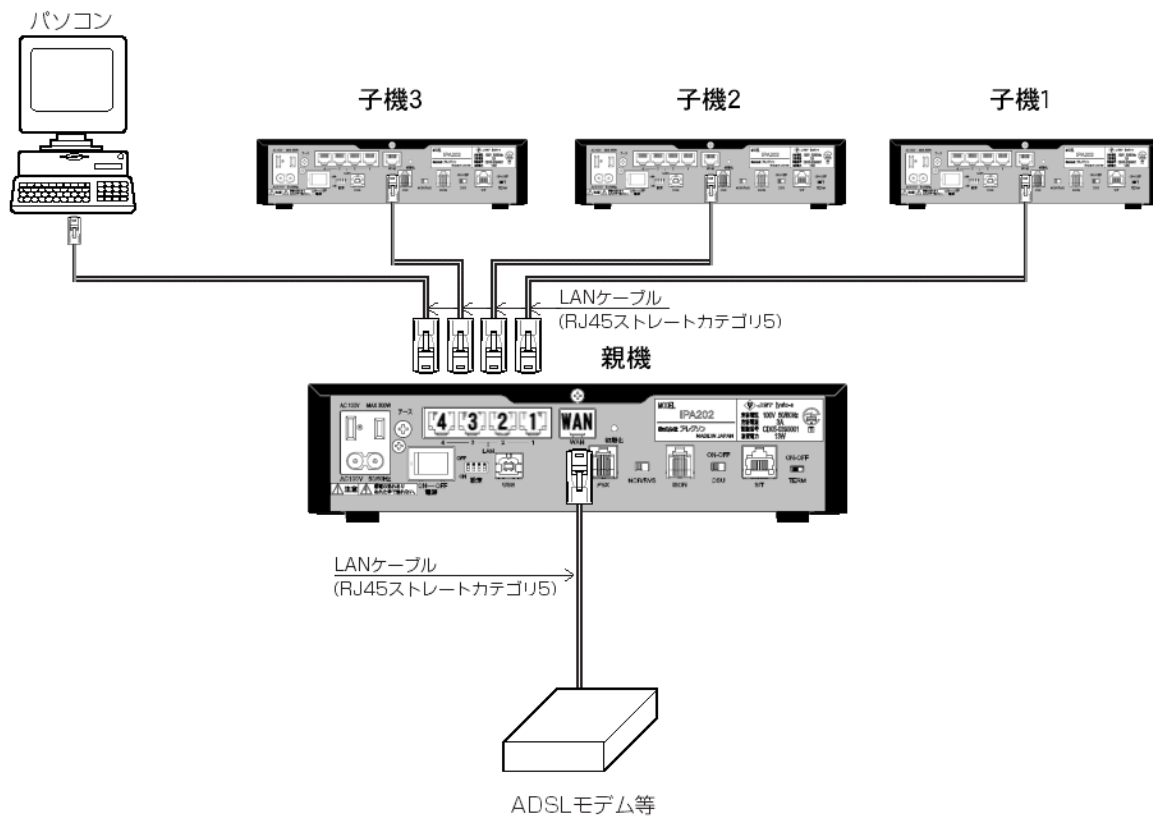
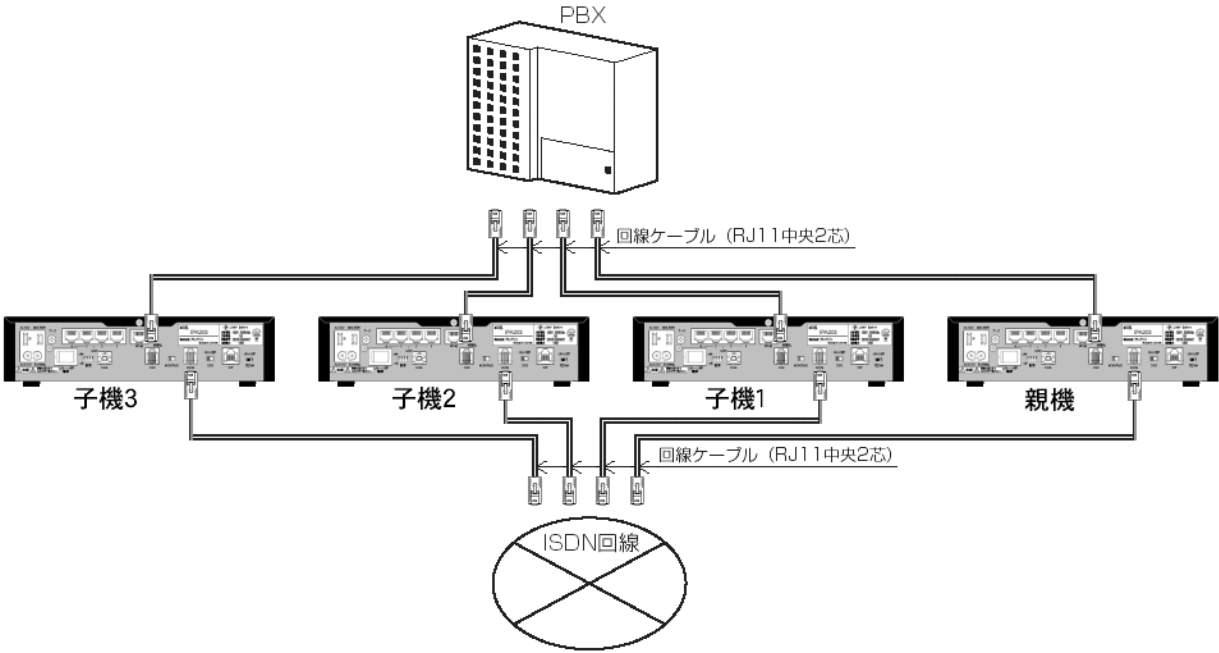
子機 2 の設定方法

14. パソコンを再起動後、子機 2 と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続します。
15. Web 設定を起動します。
16. 子機 1 の手順と同じ操作をしてから、再起動後の IP アドレスの確認表示している「子機 2 として動作」ボタンをクリックします。
17. 接続パソコンを再起動します。
18. 再起動してから、URL フィールドに本機の IP アドレス「http://192.168.20.1:56782/Exp」を入力して再ログインします。
19. Web 設定画面を「最新の情報に更新」してから、子機 2 専用の「SIP プロキシーの登録」をします。
20. これで子機 2 の設定は完了します。
21. 「2.4.8.1.3 接続方法」に従って LAN ケーブルを接続してください。

子機 3 の設定方法

22. パソコンを再起動後、子機 3 と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続します。
23. Web 設定を起動します。
24. 子機 1 の手順と同じ操作をしてから、再起動後の IP アドレスの確認表示している「子機 3 として動作」ボタンをクリックします。
25. 接続パソコンを再起動します。
26. 再起動してから、URL フィールドに本機の IP アドレス「http://192.168.30.1:56783/Exp」を入力して再ログインします。
27. Web 設定画面を「最新の情報に更新」してから、子機 2 専用の「SIP プロキシーの登録」をします。
28. これで子機 3 の設定は完了します。
29. 「2.4.8.1.3 接続方法」に従って LAN ケーブルを接続してください。

2.4.8.1.3 接続方法

1. 親機の基本接続方法。（全 LAN・ISDN・PBX の接続は次項記載）

2. 全 LAN ポートの接続方法。下記図に準じて接続してください。子機 1～子機 3 を接続する（IP 電話で 9 通話チャンネル以上ご利用）場合は、「2.3.2 QoS の設定」を「無効」に設定し、IP 電話中は親機でデータ通信を行わないでください。

3．全 ISDN と PBX の接続方法。（子機 2～子機 3 が存在しない場合も有ります）

Web 設定する場合の URL 一覧

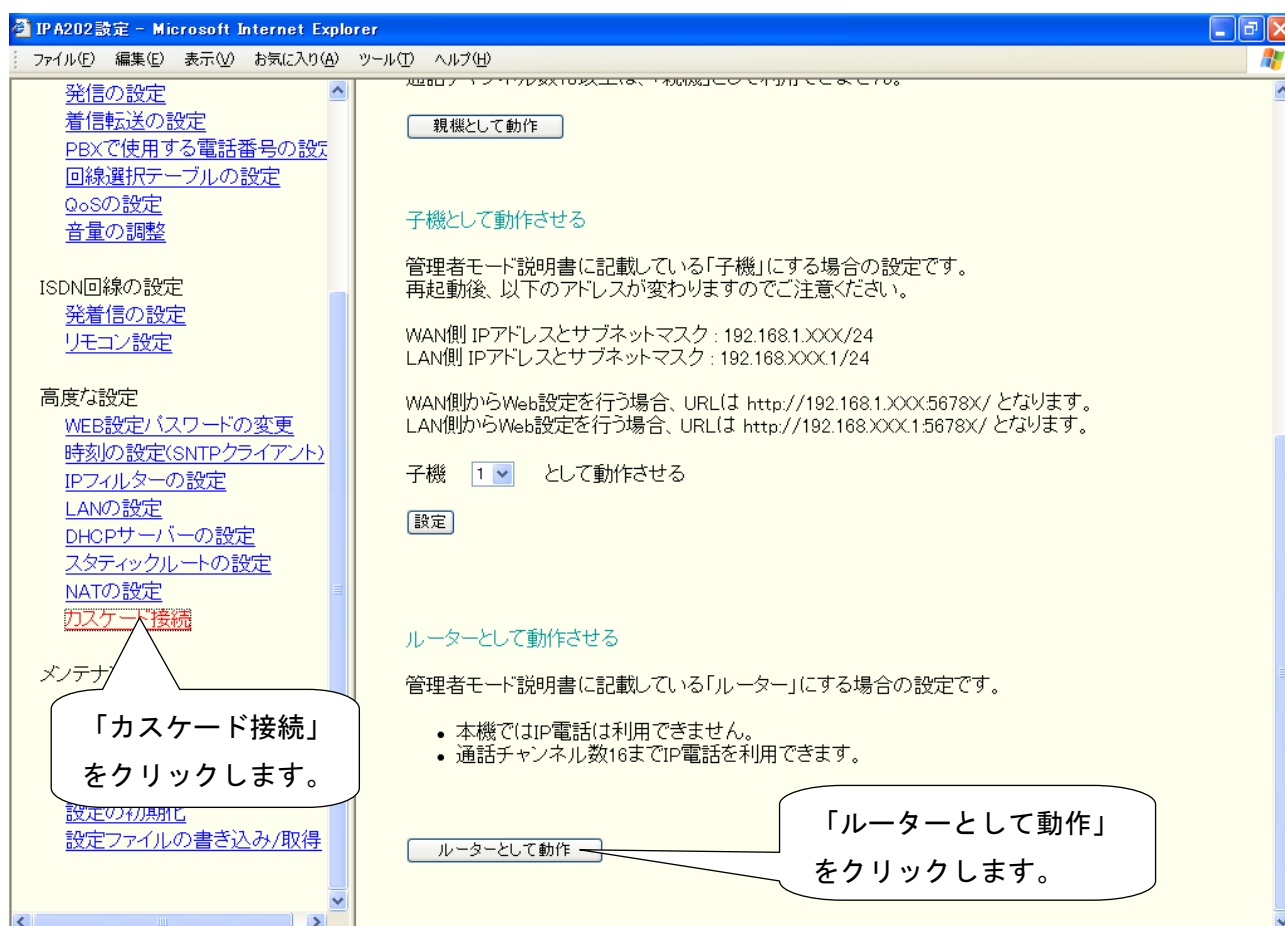
	Web 設定	URL
親機	WAN 側	ISP 提供のグローバル IP アドレス
	LAN 側	http://192.168.1.1/Exp
子機 1	WAN 側	http://192.168.1.101:56781/Exp
	LAN 側	http://192.168.10.1:56781/Exp
子機 2	WAN 側	http://192.168.1.102:56782/Exp
	LAN 側	http://192.168.20.1:56782/Exp
子機 3	WAN 側	http://192.168.1.103:56783/Exp
	LAN 側	http://192.168.30.1:56783/Exp

2.4.8.2 IP電話で16通話チャンネル迄ご利用の場合

ルーター（IPA202）の基本接続方法です。（IPA202以外をルーターとしてご利用される場合は、弊社指定のルーターをご利用ください。詳しくは、弊社営業にお問い合わせ下さい。）

2.4.8.2.1 ルーターの設定方法

まずルーターの設定を行ってから、子機の設定を行ってください。

1. ルーターと決めた本機とパソコンをLANケーブル（RJ45ストレート）で接続します。
2. Web設定を起動する為に､URLフィールドに本機のIPアドレス｢http://192.168.1.1/Exp｣を入力してログインします。
3. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「カスケード接続」をクリックします。
4. 「カスケード接続」画面が表示されます。

5. 既に何か設定されている場合は、「設定を初期化する」ボタンをクリックします。
6. 「ルーターとして動作」ボタンをクリックします。
7. 再起動してから、URLフィールドに本機のIPアドレス「http://192.168.1.1/Exp」を入力して再ログインします。
8. Web設定画面を「最新の情報に更新」してから、WANの設定をします。（詳しくは、取扱説明書「8 本機を設定するには」をご参照ください）
9. 「メンテナンス」の「装置の再起動」をクリックして、「装置を再起動する」ボタンをクリックします。
10. 本機のPPPランプが点灯することを確認します。これで親機の設定は完了します。

2.4.8.2.2 子機 1～4 の設定方法

ルーターの設定が終わりましたら、子機の設定を行ってください。

1. 子機 1 と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続します。
2. Web 設定を起動します。
3. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「カスケード接続」をクリックします。
4. 「カスケード接続」画面が表示されます。

5. 既に何か設定されている場合は、「設定を初期化する」ボタンをクリックします。
6. 「子機として動作させる」の「子機 1」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。

7. 再起動後の IP アドレスの確認表示が表示されます。

子機1の設定

子機1として動作させる

管理者モード説明書に記載している「子機1」にする場合の設定です。
再起動後、以下のような設定となります。

WAN側 IPアドレスとサブネットマスク : 192.168.1.101/24
LAN側 IPアドレスとサブネットマスク : 192.168.10.1/24

WAN側からWeb設定を行う場合、URLは http://192.168.1.101:56781/ となります。
LAN側からWeb設定を行う場合、URLは http://192.168.10.1:56781/ となります。

IPA202「親機」に子機を2台以上接続される場合は、「親機」の「QoSの設定」を「無効」にしてください。

[子機1として動作]

8. 「子機 1 として動作」ボタンをクリックします。
9. 接続パソコンを再起動します。
10. 起動してから、URL フィールドに子機 1 の IP アドレス「http://192.168.10.1:56781/Exp」を入力して再ログインします。
11. Web 設定画面を「最新の情報に更新」後、子機 1 専用の「SIP プロキシーの登録」をします。（詳しくは、取扱説明書「8 本機を設定するには」をご参照ください）
12. 「2.4.8.2.3 接続方法」に従って LAN ケーブルを接続してください。

子機 2 の設定方法

13. パソコンを再起動後、子機 2 と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続します。
14. Web 設定を起動します。
15. 子機 1 の手順と同じ操作をしてから、再起動後の IP アドレスの確認表示している「子機 2 として動作」ボタンをクリックします。
16. 接続パソコンを再起動します。
17. 起動してから、URL フィールドに子機 2 の IP アドレス「http://192.168.20.1:56782/Exp」を入力して再ログインします。
18. Web 設定画面を「最新の情報に更新」後、子機 2 専用の「SIP プロキシーの登録」をします。
19. 「2.4.8.2.3 接続方法」に従って LAN ケーブルを接続してください。

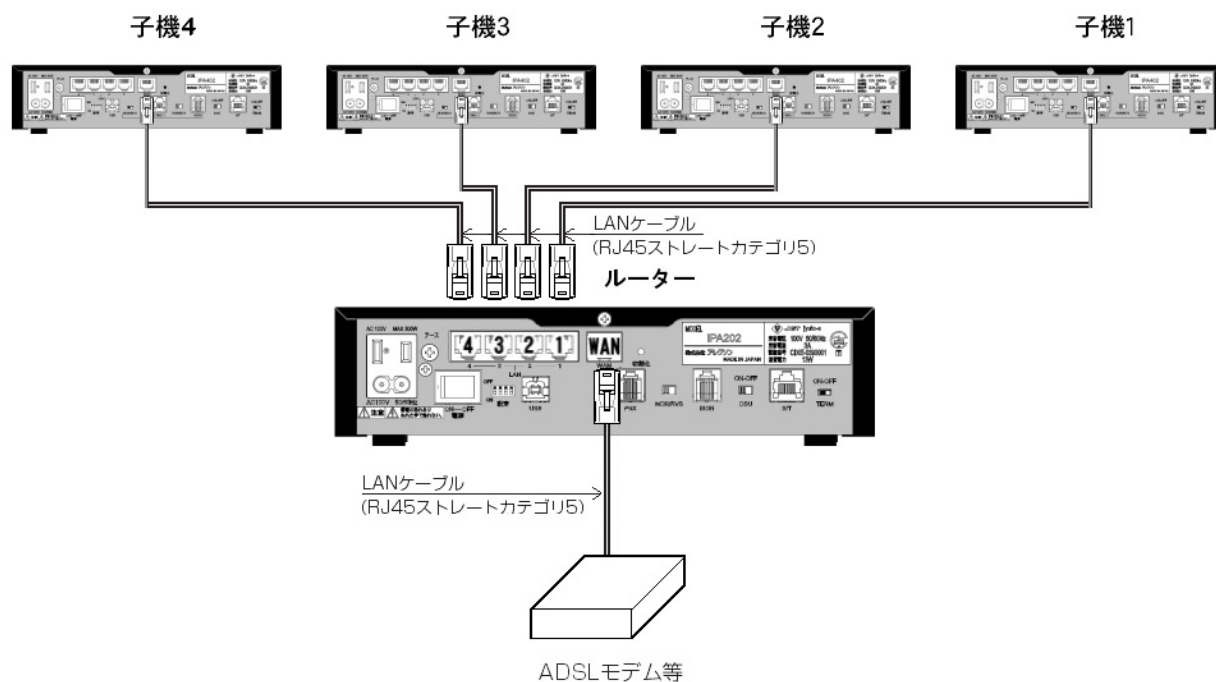
子機 3 の設定方法

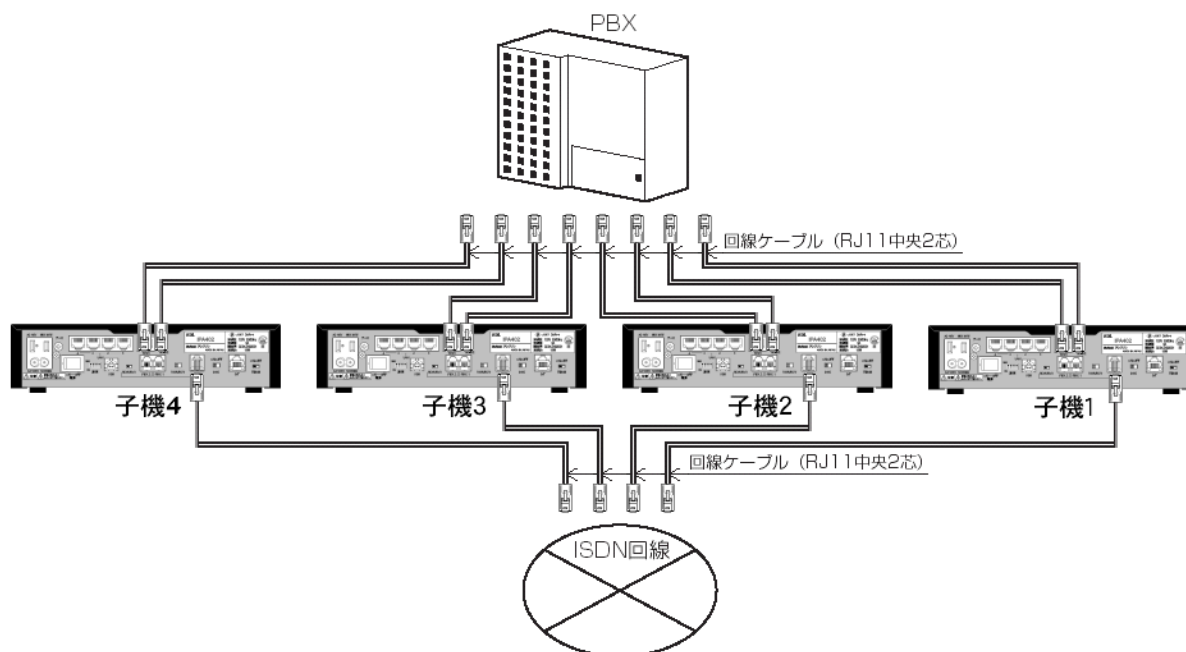
20. パソコンを再起動後、子機 3 と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続します。
21. Web 設定を起動します。
22. 子機 1 の手順と同じ操作をしてから、再起動後の IP アドレスの確認表示している「子機 3 として動作」ボタンをクリックします。
23. 接続パソコンを再起動します。
24. 起動してから、URL フィールドに子機 3 の IP アドレス「http://192.168.30.1:56783/Exp」を入力して再ログインします。
25. Web 設定画面を「最新の情報に更新」後、子機 3 専用の「SIP プロキシーの登録」をします。
26. 「2.4.8.2.3 接続方法」に従って LAN ケーブルを接続してください。

子機 4 の設定方法

27. パソコンを再起動後、子機 4 と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続します。
28. Web 設定を起動します。
29. 子機 1 の手順と同じ操作をしてから、再起動後の IP アドレスの確認表示している「子機 4 として動作」ボタンをクリックします。
30. 接続パソコンを再起動します。
31. 起動してから、URL フィールドに子機 4 の IP アドレス「http://192.168.40.1:56784/Exp」を入力して再ログインします。
32. Web 設定画面を「最新の情報に更新」後、子機 4 専用の「SIP プロキシーの登録」をします。
33. 「2.4.8.2.3 接続方法」に従って LAN ケーブルを接続してください。

2.4.8.2.3 接続方法（16 通話チャンネル例）

1．全 LAN ポートの接続方法。下記図に準じて接続してください。(子機は全て IPA402 です。)

2．全 ISDN と PBX の接続方法。（子機は全て IPA402 です。）

ご注意

- ルーター(IPA202)に PBX や ISDN 回線を接続すると、ボタン電話から正常に通話ができません。

3．設定接続方法。

・ルーター・子機等の設定が完了している場合、ルーターの LAN ポートに接続したパソコンよりカスケード接続した子機の設定が可能です。

・ルーターの Web 設定を行う場合、URL は http://192.168.1.1/Exp となります。

・子機 1 の Web 設定を行う場合、URL は http://192.168.1.101:56781/Exp となります。

・子機 2 の Web 設定を行う場合、URL は http://192.168.1.102:56782/Exp となります。

・子機 3 の Web 設定を行う場合、URL は http://192.168.1.103:56783/Exp となります。

・子機 4 の Web 設定を行う場合、URL は http://192.168.1.104:56784/Exp となります。

Web 設定する場合の URL 一覧

	Web 設定	URL
ルーター	WAN 側	ISP 提供のグローバル IP アドレス
	LAN 側	http://192.168.1.1/Exp
子機 1	WAN 側	http://192.168.1.101:56781/Exp
	LAN 側	http://192.168.10.1:56781/Exp
子機 2	WAN 側	http://192.168.1.102:56782/Exp
	LAN 側	http://192.168.20.1:56782/Exp
子機 3	WAN 側	http://192.168.1.103:56783/Exp
	LAN 側	http://192.168.30.1:56783/Exp
子機 4	WAN 側	http://192.168.1.104:56784/Exp
	LAN 側	http://192.168.40.1:56784/Exp

2.5 メンテナンス

設定項目には、下記項目があります。

- ➢ システムログ
- ➢ Ping のテスト
- ➢ オートダウンロード
- ➢ 装置の再起動
- ➢ 設定の初期化
- ➢ 設定ファイルの書き込み／取得

各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

2.5.1 システムログ

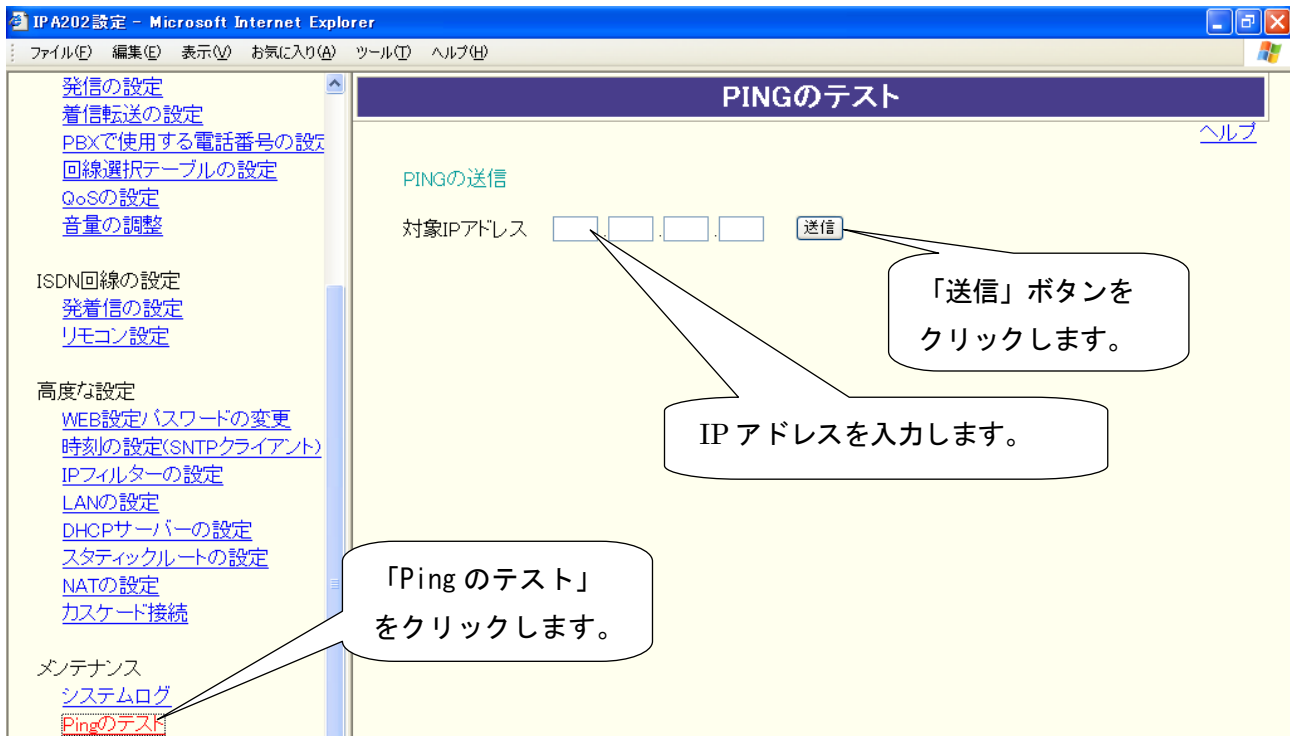
システムログを表示します。ログ表示は新しいものから順に表示します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「システムログ」をクリックします。
2. 「システムログ」画面が表示されます。
3. 最新のシステムログを参照するには、「システムログを更新する」をクリックします。
4. システムログを消去するには、「システムログを消去する」をクリックします。

- 本機を再起動または電源を切断しますとシステムログは消去されます。

2.5.2 Ping のテスト

対象 IP アドレスへの ICMP ECHO-REQUEST の送信をします。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「Ping のテスト」をクリックします。
2. 「Ping のテスト」画面が表示されます。
3. IP アドレスを入力して、「送信」ボタンをクリックします。

4. Ping 送信の結果メッセージが表示されます。

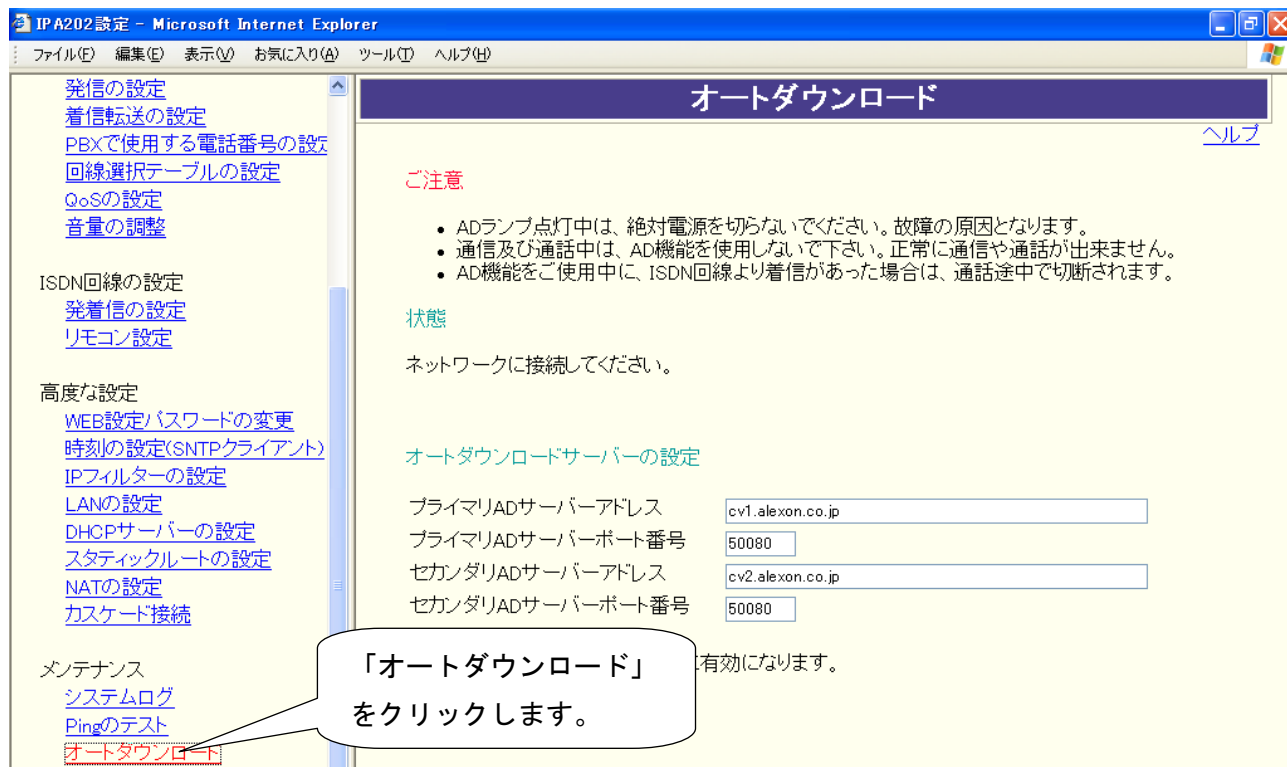
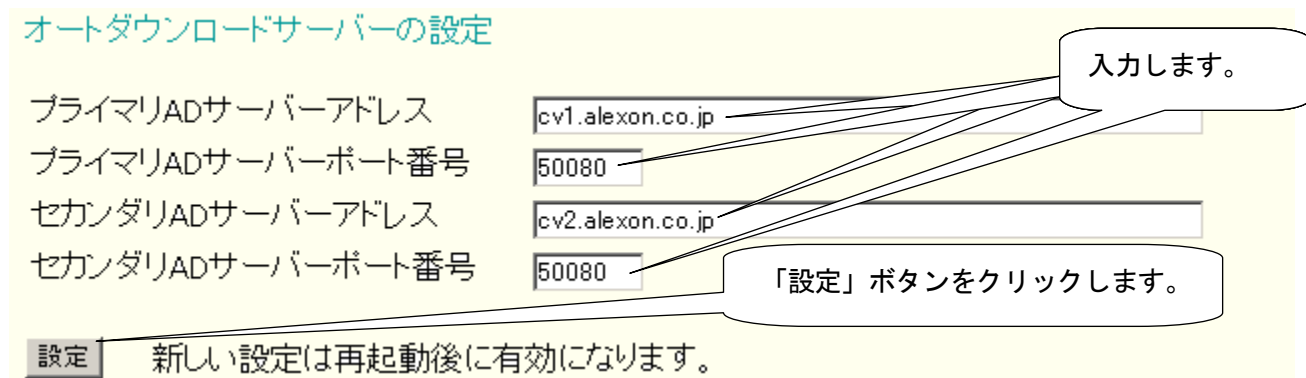
メッセージ

```
PING 192.168.1.1 (192.168.1.1): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=0 ttl=255 time=1 ms
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=1 ttl=255 time<10 ms
64 bytes from 192.168.1.1: icmp_seq=2 ttl=255 time<10 ms

--- 192.168.1.1 ping statistics ---
3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0/0/1 ms
```

2.5.3 オートダウンロード

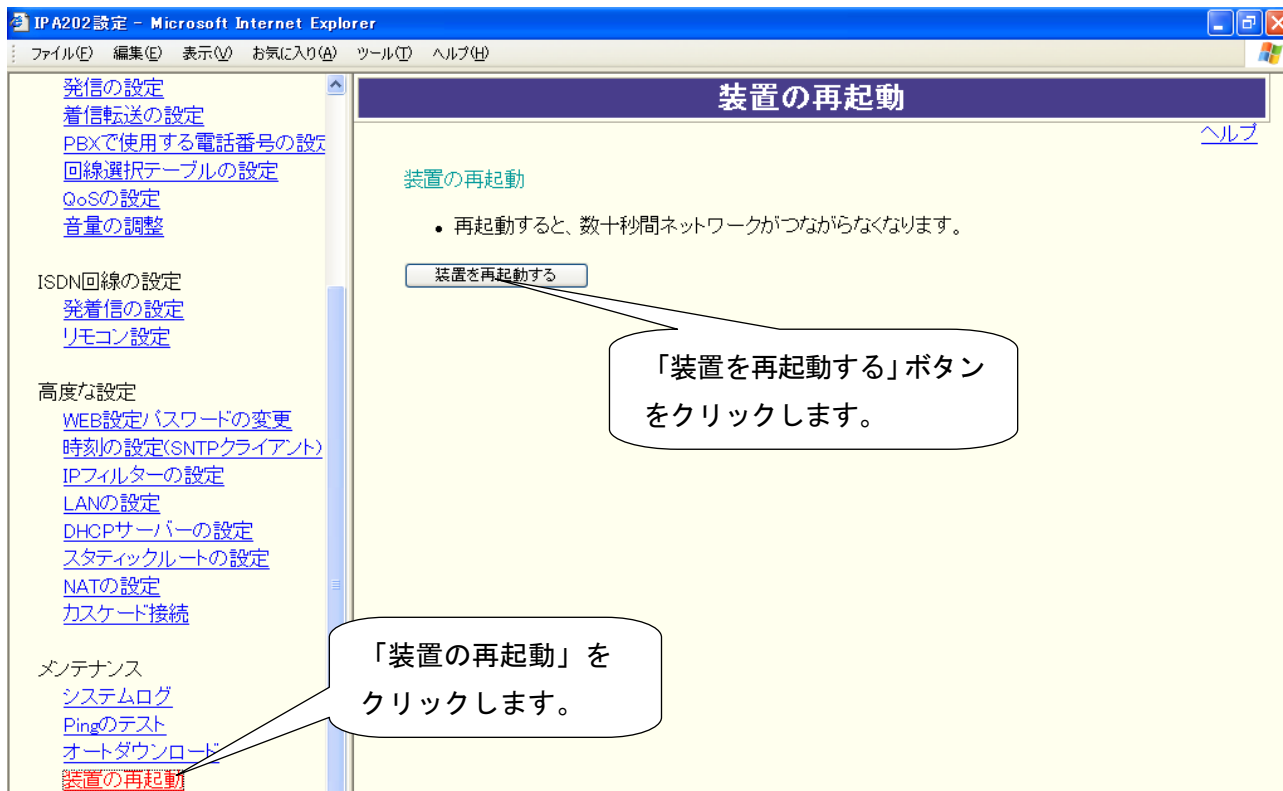
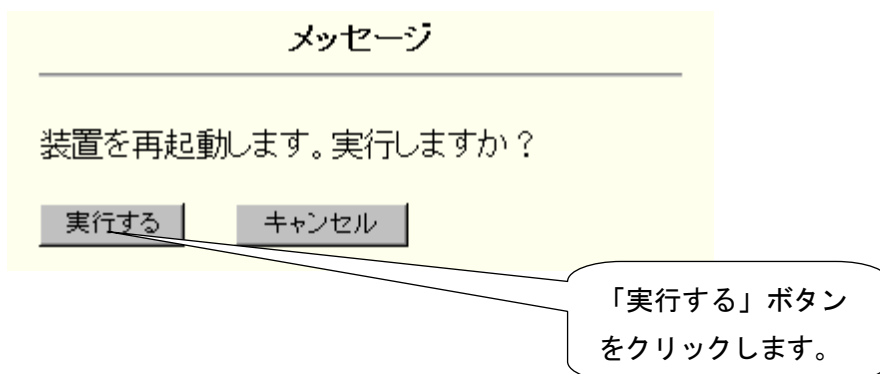
オートダウンロードサーバーの設定します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「オートダウンロード」をクリックします。
2. 「オートダウンロード」画面が表示されます。

3. オートダウンロードサーバーの設定を入力して、「設定」ボタンをクリックします。

4. 設定を有効にするために再起動してください。

- 弊社の AD サーバーに変更が発生した時のみ設定の変更をお願いします。
- AD ランプ点灯中は、絶対電源を切らないでください。故障の原因となります。
- 通信及び通話中は、AD 機能を使用しないで下さい。正常に通信や通話が出来ません。
- AD 機能をご使用中に、ISDN 回線より着信があった場合は、通話途中で切断されます。

2.5.4 装置の再起動

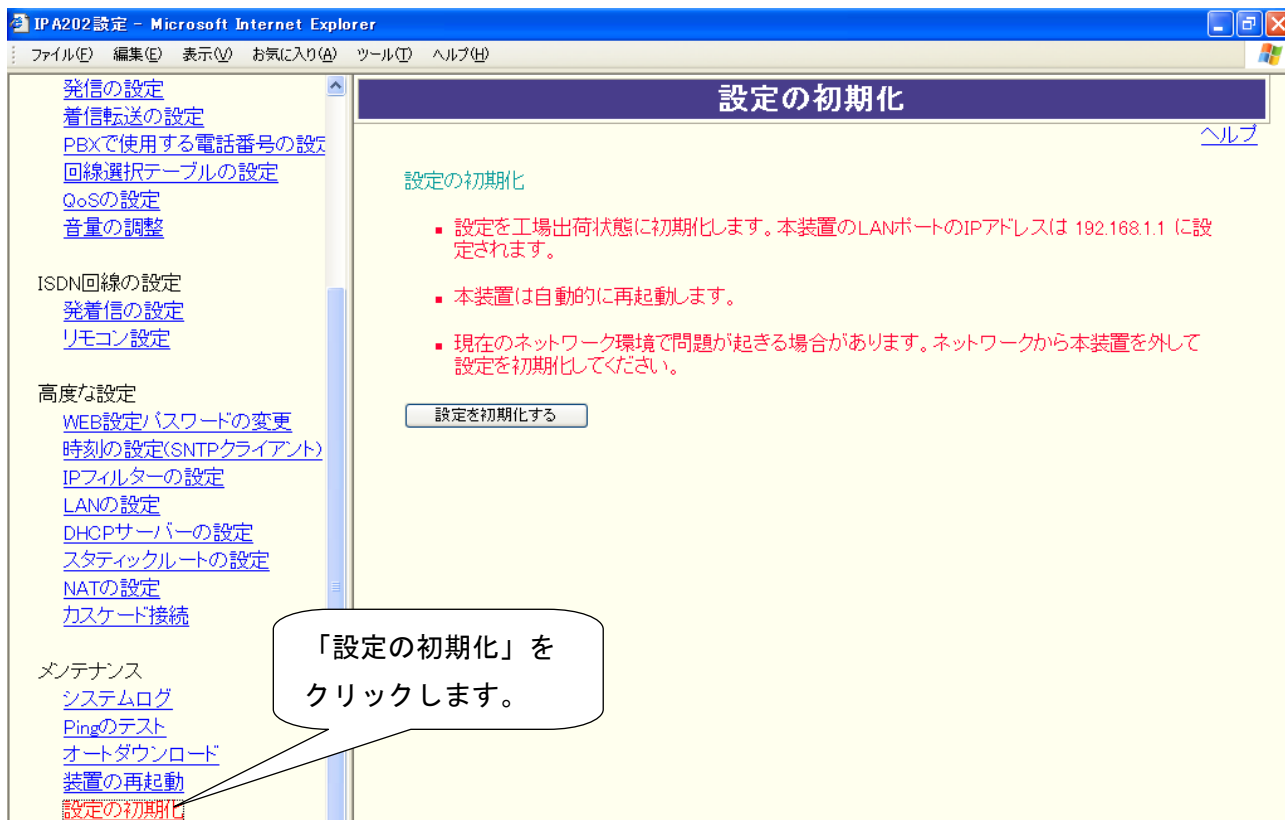
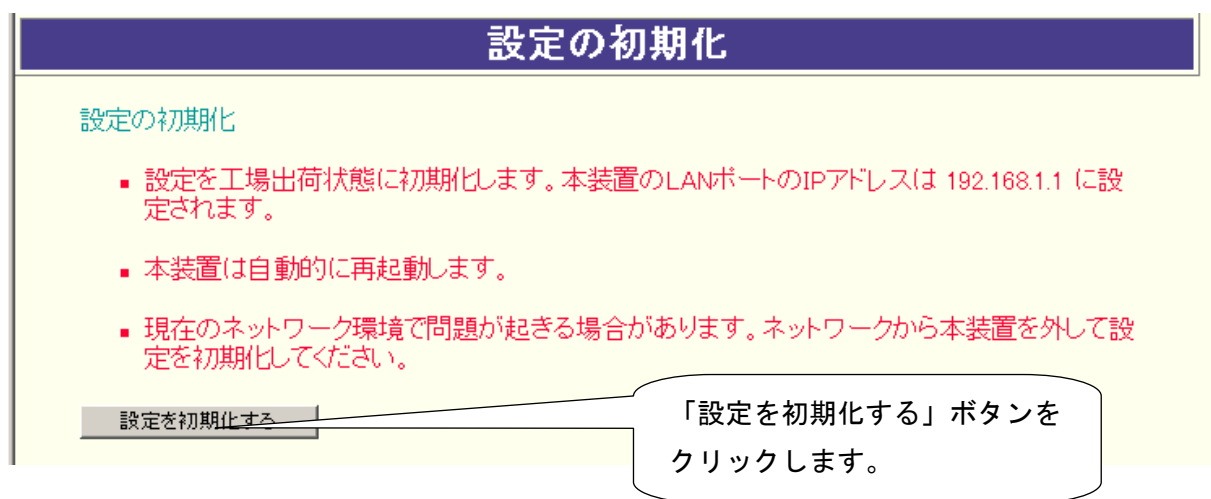
本機の設定を有効にするために再起動します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「装置の再起動」をクリックします。
2. 「装置の再起動」画面が表示されます。
3. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。

4. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。

5. 本機の設定が有効になります。

- 再起動しますと、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。
- ST ランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能と Web 設定は動作しません。

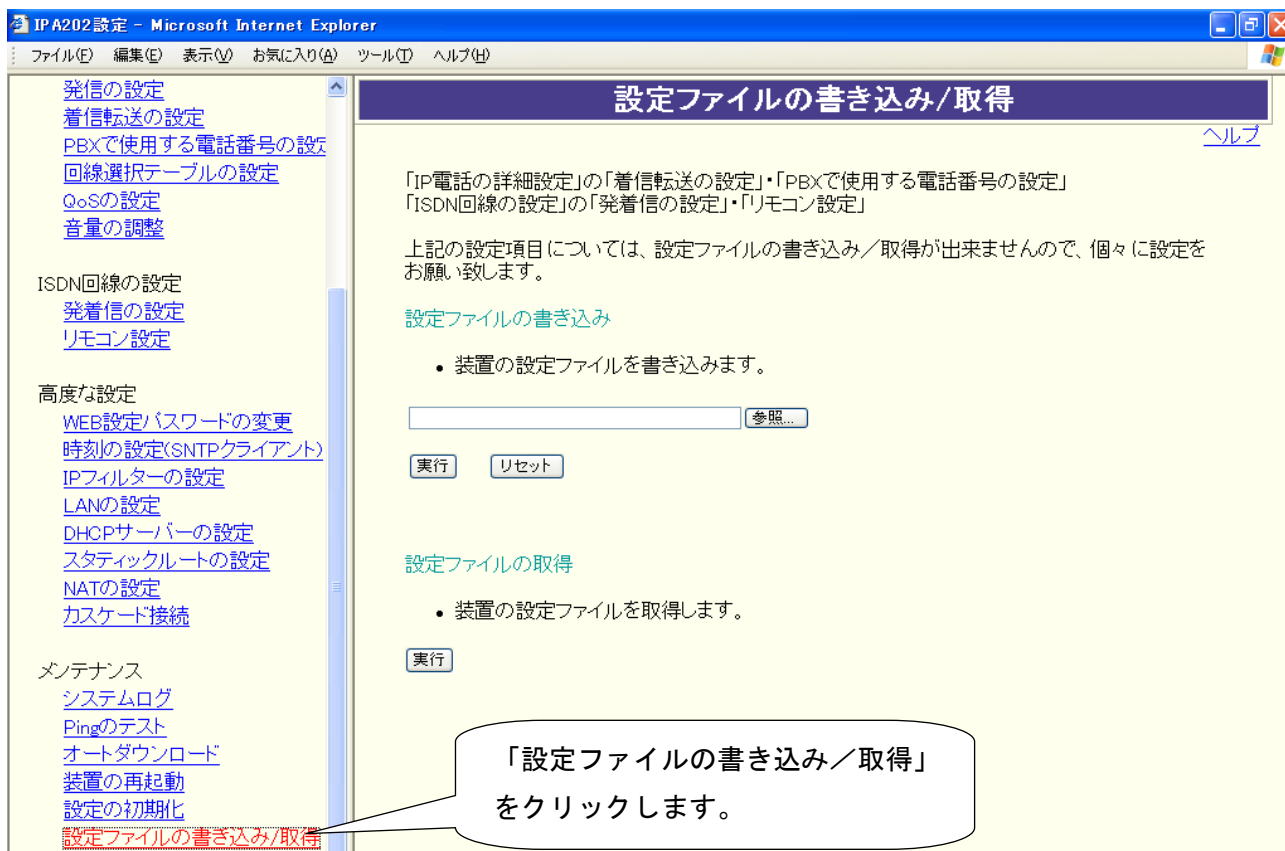
2.5.5 設定の初期化

本機の設定を工場出荷状態に初期化します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「設定の初期化」ボタンをクリックします。
2. 「設定の初期化」画面が表示されます。

3. 「設定を初期化する」ボタンをクリックします。

- 初期化しますと LAN ポートの IP アドレスは 192.168.1.1 に設定されます。
- 現在のネットワーク環境で問題が起きる場合が有ります。ネットワークから本装置を外して設定を初期化してください。
- ST ランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能と Web 設定は動作しません。

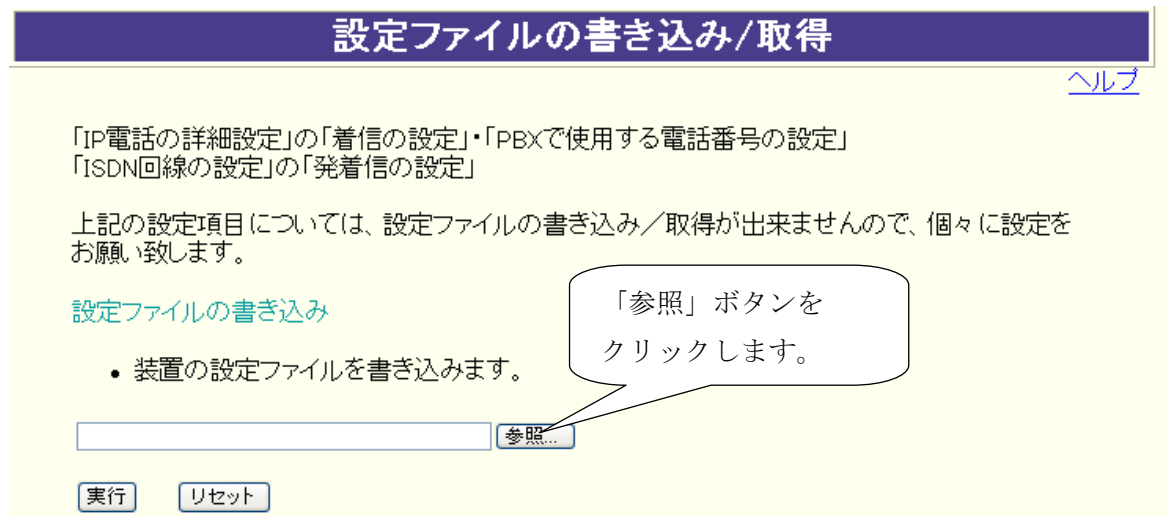
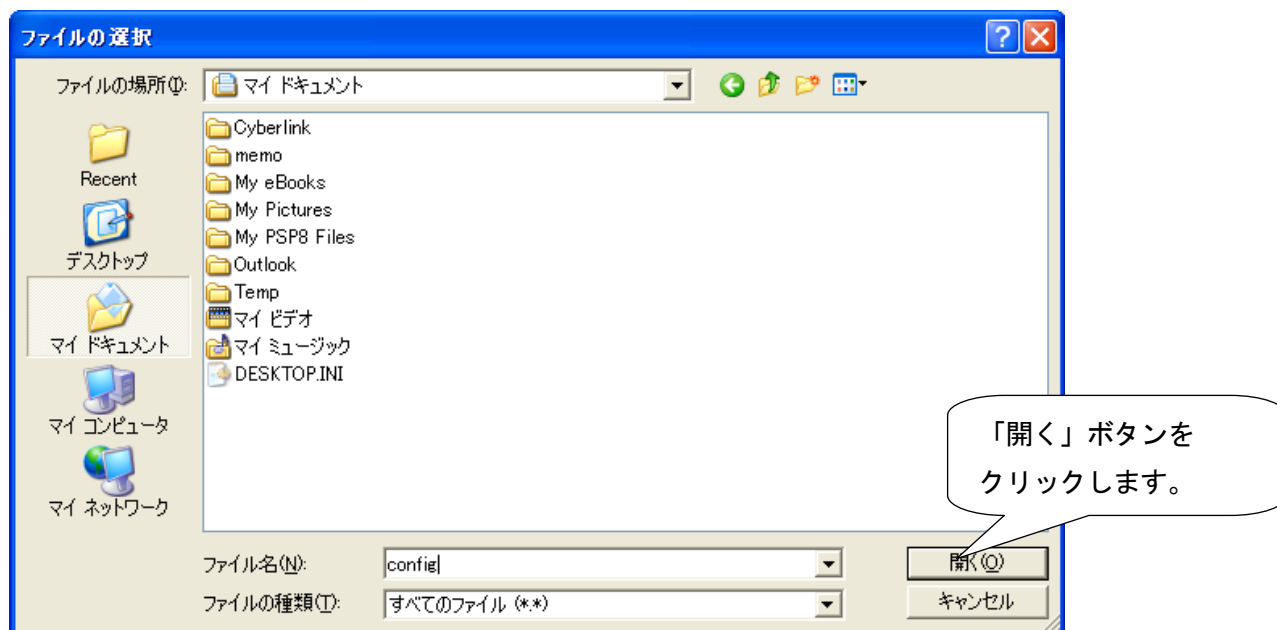
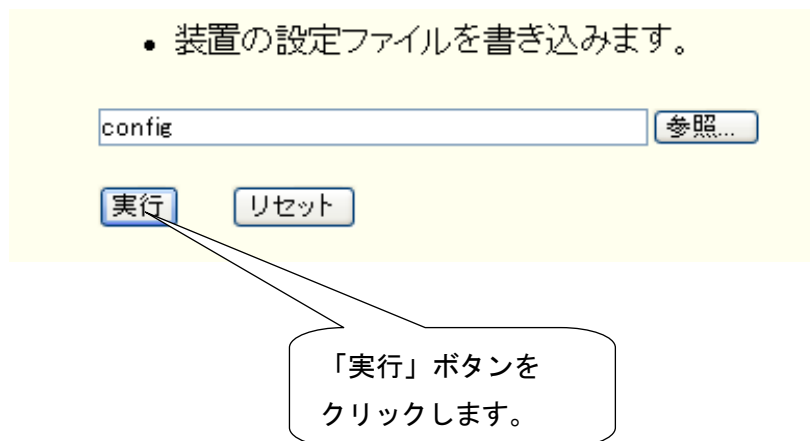
2.5.6 設定ファイルの書き込み／取得

設定ファイルを本機に書き込んだり、その設定情報をパソコンに設定ファイルとして取得できます。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「設定ファイルの書き込み／取得」をクリックします。
2. 「設定ファイルの書き込み／取得」画面が表示されます。

- 「IP 電話の詳細設定」の「着信転送の設定」・「PBX で使用する電話番号の設定」・「ISDN 回線の設定」の「発着信の設定」・「リモコン設定」については、設定ファイルの書き込み／取得が出来ませんので、個々に設定を御願いします。

2.5.6.1 設定ファイルの書き込み

保存した設定情報を本機にアップロードして設定するこができます。

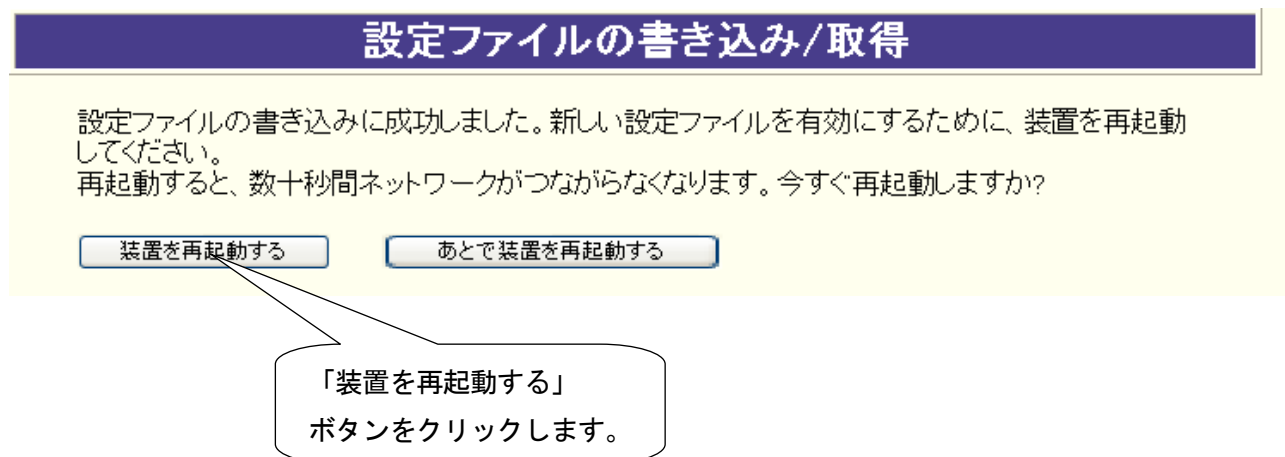
1. 「参照」をクリックします。

2. 設定ファイル（例：config）を選択して、「開く」ボタンをクリックします。

3. 「設定ファイルの書き込み／取得」画面に戻りますので、「実行」ボタンをクリックします。

4. 下記画面に変わりますので、「装置を再起動する」ボタンをクリックします。

設定ファイルの書き込み/取得

設定ファイルの書き込みに成功しました。新しい設定ファイルを有効にするために、装置を再起動してください。
再起動すると、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。今すぐ再起動しますか?

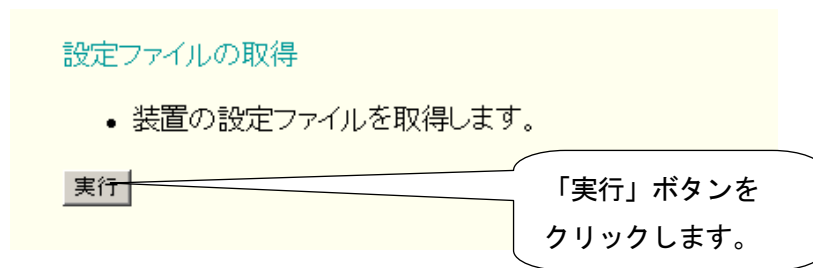
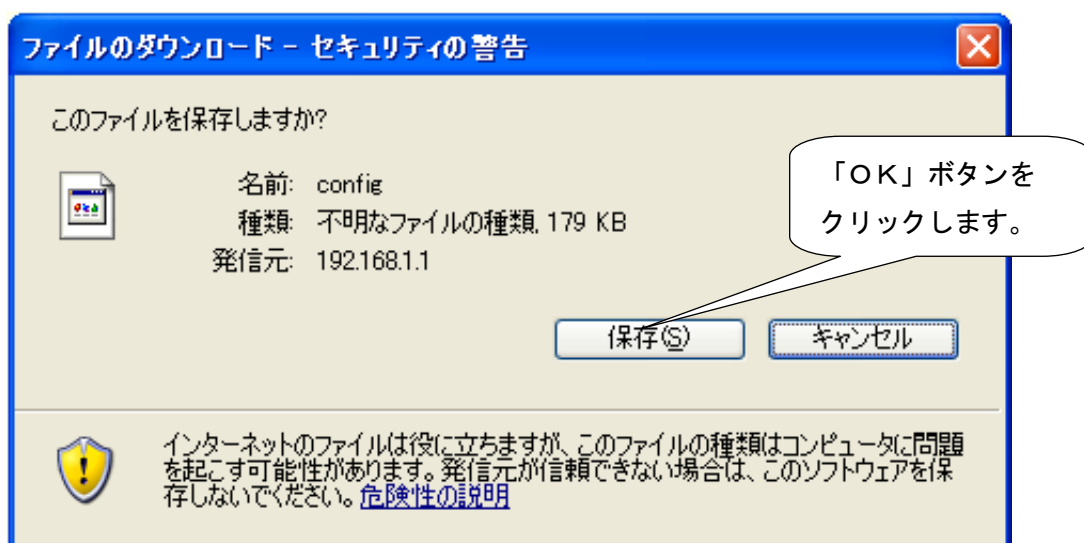
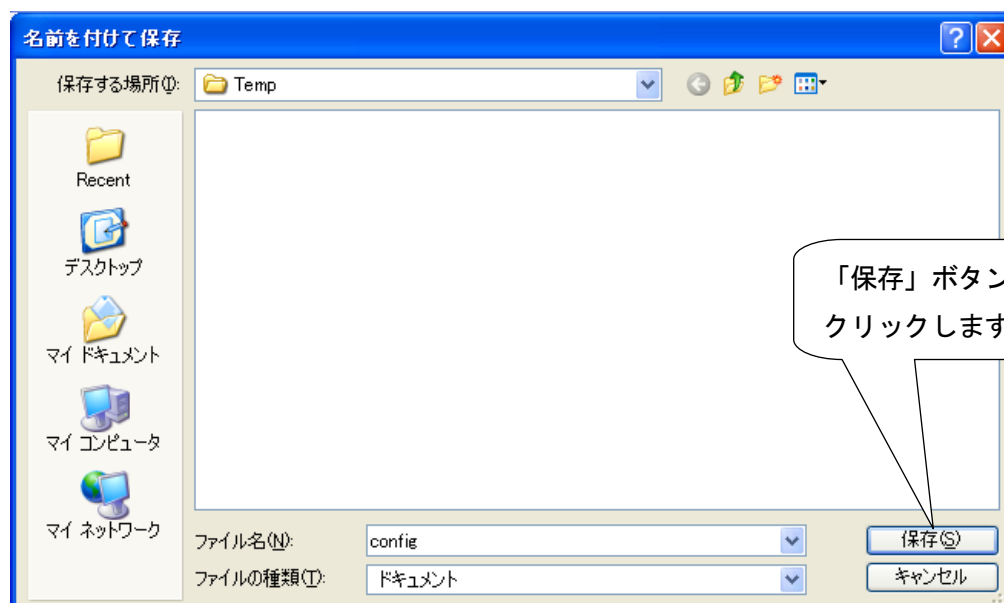
[装置を再起動する] [あとで装置を再起動する]

「装置を再起動する」
ボタンをクリックします。

ご注意

- **再起動しますと、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。**
- **ST ランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能と Web 設定は動作しません。**

2.5.6.2 設定ファイルの取得

本機の設定情報をファイルにダウンロードして保存することができます。

1. 「設定ファイルの取得」の「実行」ボタンをクリックします。

2. 下記画面が表示されますので、「ＯＫ」ボタンをクリックします。

3. ファイルを保存するフォルダへ移動して、「保存」ボタンをクリックします。

4. これで設定ファイルは指定のフォルダに保存します。